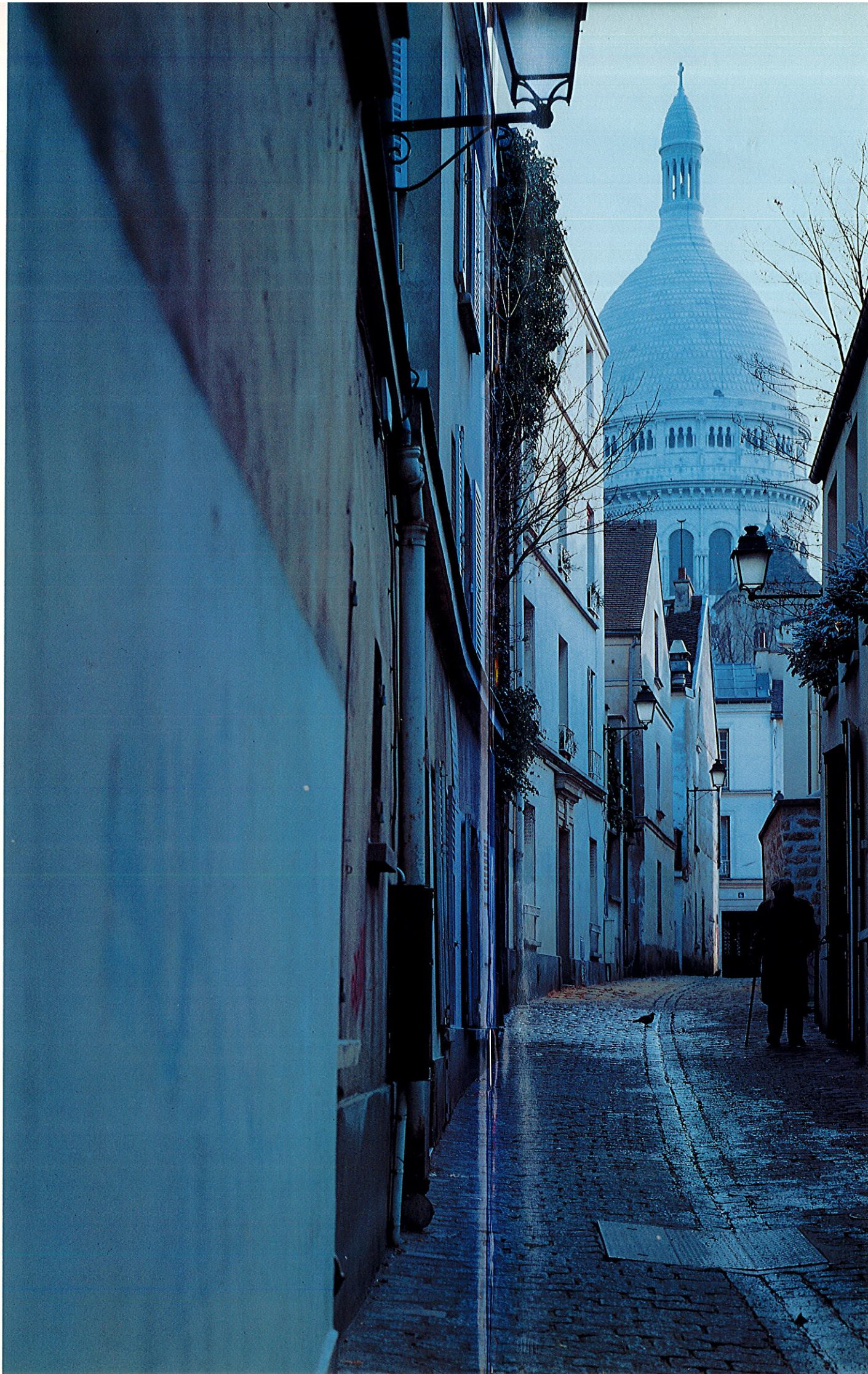


第42回東西四四大学合唱演奏会



1993年6月26日(土)

昭和女子大学人見記念講堂

主催：東西四大学合唱連盟

Doshisha College Song

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.

A SONG FOR KWANSEI

That we may both receive and give,
May live to learn, and learn to live,
Kwansei, we throng, -
We To you we throng, not first nor last,
Rejoicing in your fruitful past,
Through seasons clear or overcast
Still true and strong.

慶應義塾塾歌

見よ
風に鳴るわか旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應

早稲田大学校歌

都の西北早稲田の表に
さひゆるまなまわれらの母校
吾輩の日の抱負を知ら
進取の精神あふれ
理想を志せぬ人よ
あゝわれらの行かば
早稲田 早稲田 早稲田
早稲田 早稲田 早稲田

/ Program /

エール交歓

同志社グリークラブ
関西学院グリークラブ
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団
早稲田大学グリークラブ

1st Stage 同志社グリークラブ 「チャイコフスキー歌曲集」

1. Warum? (何故?)
2. Nicht worte, Geliebter (語るな、我が友よ)
3. Inmitten des Balles (舞踏会の中で)
4. Wieder wie früher (再びもとのように孤独で)
5. Nur wer die Sehnsucht kennt (憧れを知る者のみか)
6. Ständchen des Don Juan (ドン・ファンのセレナーデ)

作 曲：P.チャイコフスキー
編 曲：福永陽一郎
指 揮：黒岩英臣
ピアノ：久邇之宜

2nd Stage 関西学院グリークラブ 「黒人霊歌」

1. Swing Low, Sweet Chariot
2. Were You There?
3. Do-don't Touch-a My Garment
4. Sweet Little Jesus Boy
5. If I Got My Ticket, Can I Ride?
6. "JERRY" (Lord, Dis Timber Gotta Roll !)

指 揮：北村協一

———— Intermission ————

3rd Stage 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団 「Zigeunermelodien(ジプシーの歌)」

1. Mein Lied ertönt, ein Liebespsalm,
(我が歌声響く、愛の讃歌)
2. Ei, wie mein Triangel (どうだい、俺のトライアングルは!)
3. Rings ist der Wald so stumm und still,
(まわりの森は静まりかえり)
4. Als die alte Mutter (かつて年老いた母が)
5. Reingestimmt die Saiten! (弦をととのえよ!)
6. In dem weiten, breiten, (軽やかな麻の服を着れば)
7. Darf des Falken Schwinge (鷹の翼はタラの峰を廻って)

作 曲：A.ドヴォルジャーク
編 曲：福永陽一郎
指 揮：畑中良輔
ピアノ：谷池重紬子

4th Stage 早稲田大学グリークラブ 男声合唱のための組曲「若人のうた」(男声版初演)

1. 風
2. 貝
3. 草

作 詩：中沢昭二
作 曲：佐藤真
編 曲：佐藤真
指 揮：宇野功芳
ピアノ：佐藤真

———— Intermission ————

Joint Stage オペレッタ「メリー・ウイドー」より

1. ハンナの登場とアンサンブル
2. ダニロの登場の歌
3. マーチ
4. ロマンズ
5. ヴイリアの歌
6. ワルツ～フィナーレ

作 曲：F. レハール
編 曲：北村協一
訳 詞：野上彰
指 揮：松尾葉子
ピアノ：鈴木織衛
独 唱：加藤千春
ヴァイオリン：浅井万水美

/1st Stage Doshisha/ チャイコフスキー歌曲集

同志社グリークラブ

編曲者・福永陽一郎

曲目解説

チャイコフスキーの歌曲を男声合唱用に編曲したものの、アルバムが最初に完成されたのは1973年のことで、全5曲から成り、その年に畑中良輔氏指揮の慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団によって演奏された。アルバム中、「何故?」と「憧れを知る者のみが」の2曲は、ハイネやゲーテの詩が著名であることもあって、欧米でも以前から合唱編曲がおこなわれていたが、男声合唱曲集となったのは、おそらく初めてであっただろう。

1977年に早稲田大学グリークラブが、学生指揮者・三品智の指揮で改訂版（1曲削除、2曲追加）を演奏した。この早慶による2度の演奏は、いずれも、ロシア語の原歌詞を用いて歌唱された。私は、編曲者としてこの「チャイコフスキー歌曲集」に大きな愛着を感じていたが、ロシア語の語感に対して、どうも自信を持つことができず、自分で指揮するチャンスをいつも見送っていた。1980年、畑中良輔教授の好意で、ドイツ語歌詞を入手することが

でき、初版の全5曲に改訂版の挿入曲より1曲を加えて、新編成の6曲版をドイツ語歌詞を使用して演唱することになった。長年の念願をはせた満足感がある。

曲中、前述のとおり、2曲はもともとがドイツ語の詩であり、ゲーテのほうは原詩そのものがチャイコフスキーのメロディーに当てはめられる。ハイネのほうはそのままとは言えないが、勿論、内容に变りはなく、語順に多少の異同があるのみである。これをふくめて、ドイツ語の訳詩は非常によくできており、内容を正確に伝えると共に、正式にととのった韻を踏んだ、格調の高いものに仕上がっている。私は、チャイコフスキーのメロディーの句読との間に、ほとんど違和感を感じなかった。

チャイコフスキーの音楽と心情には、私はとくに密接な親近感を抱いている。

(第24回同立交歓演奏会プログラムより転載)

Tschaikowski (1840—1893)



創造的芸術家としてのチャイコフスキーの音楽的成長は、おそかった。1840年、裕福な中流家庭の子としてヴォトキンスクに生まれた彼は、感受性が非常に鋭く音楽に対して極度に鋭敏であった。1850年に一家はペテルブルグに移り、彼は同地の学校に入った。音楽への関心もまあまあではあったが、学校では全然、音楽を学ばなかった。その後、法律学校に学び法務省の書記の地位を得るものの、音楽が趣味以上となっていることに気付き、本格的に音楽を学ぶことになる。ペテルブルグ音楽院卒業後、モスクワに赴任するがこの時期彼の才能の開花を助けたニコライ・ルビンシュタインと出会うことになる。彼の援助の下作曲活動は着実に進み、ピアノ協奏曲や白鳥の湖等初期の名作を生み出していく。人々はこれらを愛し、彼の作品は次第に聴かれ始め名声は着実に高まった。1877年には、二つの画期的事件が彼の身の上に起きた。妻をめとり、富豪フォン・メック夫人との不思議な関係が始まったのだ。妻はイワーノヴナ・ミリュエコワという名のモスクワ音楽院での教え子の一人だった。恐らく彼は彼女が相手なら夫としての權威を保てると考えたのだろう。しかし、事態はそう展開せず結婚生活は明白な失敗に終わった。この時期、精神的痛手を負った彼の創作活動を助けたのがフォン・メック夫人であった。彼女の援助により西欧に通用する大作曲家の道を目指し西欧世界を自由に歩き、ヴァイオリン協奏曲、弦楽セレナーデ等の華麗な作品を生み出すこととなった。後年の彼は、民族的であることをそれほど意識しなかった。1893年、最高傑作である悲愴交響曲を書き上げた一週間後、コレラにかかり他界する。彼の死については、今だ謎を残しており、性的スキャンダルにより自殺を余儀なくされたという説もある。

1. Warum? (Heinrich Heine)

Warum sind denn die Rosen so blass?
stüsses Lieb, Kannst du sagen mir das?
Warum sind denn die Veilchen im Gras
wie von Thränen die Äugelein nass?

Warum tönt mit so traurigen Klang
aus den Lüften der Lerche Gesang?
Warum rauscht in den Bäumen der Wind,
als ob klagende Stimmen es sind?

Warum blickt denn die Sonne so kalt
und verdrossen herab auf den Wald?
Warum ist denn die Erde so grau
und so öde, wohin ich auch schau?

Und warum ist mir selbst denn so weh?
Warum Alles durch Thränen ich seh?
Sprich warum süßes Liebchen,
O sprich, warum hast du verlassen mich?

1. 何故? (ハインリッヒ・ハイネ 詩)

何故 バラはこんなにも青ざめているのか
やさしい恋人よ 答えてくれないか
何故 スミレは緑の草の下にいるのか
まるで涙で濡れた瞳のように

何故 こんなにも悲しげに響くのか
空へと 小鳥の歌は
何故 木々の間て風がたてる音は
嘆きの声のようなのか

何故 太陽は冬のように冷たく
不機嫌に森を照らすのか
何故 私が見ているこの大地は
こんなにも陰鬱で荒れ果てているのか

そして何故 私自身こんなに悲しく
何故 すべてが涙を通して見えるのか
何故 お言ってくれ 恋人よ
お前は何故 私から去っていったのか

2. Nicht Worte, Geliebter (Pleschtschew)

Nicht Worte, Geliebter! Nicht Seufzer!
So schweigsam lass werden uns Beide,
wie schweigend
und einsam auch über den Grabstein
sich neiget die trauernde Weide!

Wie jene zum Steine gebeugt les
ich auch im Herzen,
dem Kranken von Tagen seligen, seligen Glücks,
die lange zu Grabe schon sanken!

Nicht Worte, Geliebter! Nicht Seufzer!
So schwingen lass werden uns Beide,
wie schwingen und einsam
auch über der Grabstein
sich neiget die trauernde Weide!

2. 語るな、我が友よ (プレシチュエフ 詩)

語るな 恋人よ ため息をたてるな
僕ら二人 黙ってよう
黙って孤独に墓石の上に垂れている
悲しげな柳のように

ただ垂れている柳だけが知っているのだ
君の疲れた心に 明るい幸せな日々があったことを
そして その幸せの失われたことを

語るな 恋人よ ため息をたてるな
僕ら二人 揺れ動こう
揺れ動いて孤独に墓石の上に垂れている
悲しげな柳のように

3. Inmitten des Balles (Alexei Konstantinowitsch Tolstoi)

Inmitten des eitlen Getriebes,
beim Balle, hab ich dich erblickt.
Doch hat ein Geheimnis, dein liebes,
dein sinnendes Antlitz bedrückt.

Es schauten die Augen, die hellen,
voll Wehmut, doch silbern erklang die Stimme
wie Splele der Wellen,
wie ferner Schalmeingesang.

Dein Wesen erschien so versonnen,
So schön deine schlanke Gestalt,
dein Lachen in Perlen zerronnen
Seither mir im Herzen erschallt.
In einsamen nächtlichen Schauern
umschwebt mich dein Zauber hinfort
ich sehe dein Angesicht trauern,
ich höre dein heiteres Wort.

Und Träume voll Seligkeit mich umfängen,
mich leise erlösen von Schmerz.
Wohl zweifle ich manchmal mit Bangen,
doch scheint es mir : Dein ist mein Herz!

3. 舞踏会の中で (トルストイ 詩)

舞踏会の騒がしさの中で ふと
あなたを見た
でも あなたの愛しい物思わしげな顔は
神秘に覆われていた

その瞳はたくさんの悲しみを見るようで
でも その声は銀鈴のように美しく響いた
波のゆらめきのように
遠くから聞こえてくるシャルマイのように

あなたの物思わしげな様子
あなたの細い腰
半となって消える笑い声
その時からいつもぼくの心に響いている

孤独な夜のなかで
あなたの魅惑がぼくを覆う
ぼくはあなたの麗しげな目をみて
朗らかな言葉を開く

そして夢のようなたくさんの至福に抱かれ
ぼくは 少しだけ苦しみから救われる
あなたを愛しているのか……不安になる
でもぼくは思う……あなたを愛していると

4. Wieder wie früher (A.M.Rathaus ~ B.Tutenberg)

Wieder wie früher allein;
wo ist mein herziges Kind?
Draussen im silbernen Schein rauscht
eine Weide im Wind.
Droben am Himmlichen Zelt scheinen
die Sterne so mild;
weit aus den Fernen der Welt leuchtet
mir heimlich dein Bild.
Was auf mir lastet, ist schwer,
sehnsuchts voll Wart ist auf dich.
Liebste, du fehlst mir so sehr!
Liebste, O denke an mich!

4. 再びもとのように孤独で (ラストガウス 詩)

再びもとのように孤独になった
可愛い君は何処へ?
銀の星空の下で柳が風にさやぐ
天幕には星があんなにもやさしくきらめいている
この世界の遙か彼方に君の姿は私から隠される
私のうえにのしかかるものは重く
思い焦がれて君を待っている

恋人よ 君がいなくてこんなにもつらい
恋人よ 私のことを思っていておくれ

5. Nur wer die Sehnsucht kennt (Goethe)

Nur wer die Sehnsucht kennt, weiss was ich leide!
Allein und abgetrennt von aller Freude,
seh ich aus Firmament nach jener Seite.
Ach! der mich liebt und kennt, ist in der Weite.

Nur wer die Sehnsucht kennt, weiss was ich leide!
Allein und abgetrennt von aller Freude,
Es schwindelt mir, es brennt mein Eingeweide.
Nur wer die Schnsucht kennt,
weiss was ich leide!

5. 憧れを知る者のみが (ゲーテ 詩)

憧れを知る者のみが私の悩みをわかるのだ
ただ一人 すべての喜びから離れ
私は彼方の空を眺める
ああ! 私を愛し知っている人々は遠くにいるのだ

憧れを知る者のみが私の悩みをわかるのだ
ただ一人 すべての喜びから離れ
目まいがし 胸はいっぱい燃える
憧れを知る者のみが私の悩みをわかるのだ

6. Ständchen des Don Juan (Tolstoi)

Denkel löscht der Alpujarra goldumwohne
Säume aus
Folgt dem Locken der Guitarra,
schönstes Liebchen tritt heraus.
Sollte wer zu preisen wagen eine andere als dich,
dann soll er sich mit mir schlagen, dann, dann
dann trifft ihn des Degens Stich!

Es glänzt durch die Zweige
des Mondes Licht schon.
Nisetta, o zeige dich auf dem Balkon.

Von Sevilla bis Granada Klingt
im Dämmerchein der Nacht
Degenkampf und Serenada,
ehrt man so der Liebe Macht.
Für die schönen Frauen schallen
viele Lieder fließt auch Blut,
doch der herrlichsten von allen, ihr, ihr,
glit mein Lied und Blut und Gut!

Es glänzt durch die Zweige
des Mondes Licht schon,
Nisetta, o zeige dich auf dem Balkon.

6. ドン・ファンのセレナーデ (トルストイ 詩)

遠いアリブハラの黄金色の山々が消えていく
ギターの響きの呼び声に
出ておいで 私の愛しい人よ
あなた以外の人を愛めたたえる奴がいるならば
私は愛に燃えつつそいつと戦い
そして 剣を突き刺してやる

月の光に染まる地平線
おお 出ておいでニセータよ 早くバルコニーへ

セビリアからグラナダまで 夜の静かな闇の中
セレナーデが聞こえ 剣の打ち合う音が響く
この多くの血 多くの歌は
素晴らしい女性達のために流される
しかし 私こそすべての素晴らしい女性たちに
すべてを 私の歌も血潮も財も捧げよう

月の光に 染まる地平線
おお 出ておいでニセータよ 早くバルコニーへ

/ 2nd Stage Kwansei /

「黒人霊歌」

関西学院グリークラブ

1865年5月、合衆国が真っ二つに分かれて争った南北戦争は、北軍の勝利のうちに4年間の闘いの幕を降ろす。これにより、17世紀以降新大陸アメリカの開拓のために牛馬の如く扱われてきた黒人奴隷たちは、制度上解放されることとなった。これを受けて翌年、黒人教育の最高機関とも言べきテネシー州ナッシュビルのフィスク大学が解放され、黒人たちは教育の自由を手にする。1871年、大学の運営資金調達の一手段として、同校の学生と卒業生で組織された合唱団「フィスク・ジュビリー・シンガーズ」が全米各地及びヨーロッパでコンサートを行った。その中で彼らの歌ったスピリチュアルズ・黒人霊歌は大きな反響を呼び、白人芸人が黒人の扮装をして行う「 minstrel・show」でも大いに紹介されるなど、広く知られることとなったのである。現在日本でも多くの合唱団が演奏会のプログラムに黒人霊歌を取り入れ、また愛唱歌として歌っていることは、既によく御存知のところであらう。

アフリカの民族音楽にその源が求められる黒人霊歌の音楽的特徴の中でも最も顕著なものは、リズム感を強調するための強烈な切分法（シンコペーション）である。第2拍にアクセントを置くことによって生まれる烈しい躍動感は、黒人の生み出した世界的文化遺産とも言えるジャズに受け継がれており、我々日本人が持つ第1拍にアクセントを置くリズム感とは決定的に異なるものと言える。音階の上では、本来のアフリカの音階である7音音階の上に縷々現れる中近東的な5音音階が独特なわびしさ、空白感を醸し出しており、黒人霊歌を特徴づけている。

黒人霊歌の内容は、聖書の物語からその題材を得ている。苛酷な奴隷制のもとにあって、黒人たちは唯一の救いを神に、それも故郷アフリカの神ではなく白人の神に求めた。自分たちの神はもう救ってくれないと思ったのか、それとも白人の神を信じることで白人の権力へ到ることになると考えたのか。いずれにせよ、宗

曲目解説

Swing Low, Sweet Chariot

火の車にひかれた焰の戦車が天から降りて来て、偉大な功績を残した預言者エリヤを天国へ連れて行ったという、旧約聖書（列王紀下2：11）の記述にもとづく。

Were You There ?

Old Plantation Hymns, 1899（W.E.Barton編）に最初に現われたときは復活と昇天を歌った2節が付されていたが、現在では十字架の上の死と埋葬だけを歌うことが多い。

Do-don't Touch-a My Garment

復活したイエスがマグダラのマリアのもとに現われ、「私はこれから父なる神のもとへ行かねばならない。だから私に触れてはいけない」と語る。ヨハネによる福音書2：17による。

教が黒人同志の結束を固くするという恐れもあり、何よりキリスト教神学に於いて野獣と同等のものとされている黒人がそのキリスト教を信じるなど、白人たちが許すはずもなかった。白人の迫害を逃れ、黒人たちは一日の労働から解放された夜更けに森や谷間に忍び込んで、見よう見まねの礼拝式を行って神に祈った。しかしやがて南部の教会が、奴隷制を正当化するため「現世での苦しみは来世で必ず報われる」と説き、「完全に精神的な幸福」という希望を教えようと積極的に布教活動を行うようになった。文字の読めない黒人たちは、牧師の語る聖書の物語にメロディーをつけ、楽器など手にする事もできなかったので手拍子でリズムをとって歌った。そして支配者の宗教を自分たちなりに吸収していったのである。

彼らは聖書に描かれたキリストやユダヤの民たちの受難の物語を自分たちの現実の姿に置き換え、モーゼやヨシュアの救いを待ち望んだ。そしてやがてそれは、ヨルダン河を越えて約束の地カナンへ行くこと、「ホーム」へ帰ること、すなわち「死」に安息を見出だすという、悲しい現実逃避へと姿を変えていった。

黒人霊歌がこのような暗く悲しい面を持っていることは確かである。しかし黒人霊歌をそのようにただの暗い音楽としてかたづけけるわけにはいかない。彼らの歌には常に強いエネルギーが息づいている。かつて黒人連隊を指揮していた白人大佐ヒギンソンはこう記している。「彼（リーダー）が歌いはじめた。するとほんのしばらく耳を傾けていた男たちが、明らかに聞いたこともなかったその歌のコーラスに加わってきた。私は新しい『歌い』が彼らのあいだに根づくのがどんなに簡単なことかやっとなかった。」

アフリカに古くから伝わる諺はこう言っている。「歌なくして霊の降臨なし」黒人たちにとって歌は血であり、肉であり、そして魂なのである。

Sweet Little Jesus Boy

遠い昔に生まれた幼な子イエスを思い、何も知らずにひどいことをしたことの許しを請う。クリスマスの歌として歌われることもある。

If I Got My Ticket, Can I Ride ?

「天国行きの列車に乗るキップを手に入れたなら、乗ってもいいですか？」死を待ち望むその内容とは裏腹に、軽快なメロディーとリズムにのって歌われる。

"JERRY" (Lord, Dis Timber Gotta Roll !)

黒人たちの歌う労働歌が彼らの動きを調整し、仕事がかどることを白人たちはよく知っており、彼らの歌を抑えつけるどころか、歌のリーダーは待遇をよくされたりした。「Jerry」はらばの名前。丸太を運ぶらばの歌である。

1. Swing Low, Sweet Chariot

Swing low, sweet chariot.
Comin' for to carry me home.

I looked over Jordan an' what did I see.
A band of angels comin' after me.

If you git dere before I do.
Tell all my friends I'm comin' too.

Swing low, sweet chariot.
Comin' for to carry me home.

2. Were You There ?

Were you there when they crucified my Lord?
Sometimes it causes me to tremble.

Were you there when they laid Him in the tomb?
Sometimes it causes me to tremble.

3. Do-don't Touch-a My Garment

Do-don't touch-a my garment, Good Lawd, I'm gwine home.
To yo' God and my God, Good Lawd, I'm gwine home.

Touch me not, little Mary, Good Lawd, I'm gwine home.
To yo' God and my God, Good Lawd, I'm gwine home.

4. Sweet Little Jesus Boy

Sweet little Jesus Boy, they made you be born in a man-guh.
Sweet little Holy Chil, didn't know who you wuz.
Didn't know you'd come to save us, Lawd;
To take our sins away.
Our eyes wuz bline, we couldn't see, we didn't know who you wuz.

Long tome ago, you wuz bawn.
Bawn in a manguh low, sweet little Jesus Boy.
De worl' treat you mean, Lawd,
treat me mean too.
But dat's how things is down heah: We didn't know who you is.

You done tol us how, we is a tryin'.
Mastuh, you done show'd us how, ebin when you's dyin'.
Jes seem like we kan do right,
look how we treated you!
But please suh, fuhgive us Lawd, we didn't know 'twas you.

Sweet little Jesus Boy, bawn long time ago.
Sweet little Holy Chil, and we didn't know who you wnz.

5. If I Got My Ticket, Can I Ride ?

Lawd, if I got my ticket, can I ride?
Ride away to the heaven that mornin'?

Hear a big talk of the Judgment Day.
I got no time to projick away.
Away by and by without a doubt.
Jehovah will order His train about.
Clean out the world and leave no sin.
Tell me, please, where have you been?

Hear a big talk of the Gospel Train.
You wanna get on it. Yeah, that's my aim!
Stand at the station and patiently wait.
The train in comin' and it's never late.
So long comin' that it worried my mind.
I thought it was late, but was just on time.

Lawd, if I got my ticket, can I ride?
Ride away to the heaven that mornin'?

6. "JERRY" (Lord, Dis Timber Gotta Roll!)

Timber, Timber!! Lord dis timber gotta roll.

Gotta pull dis timber 'fore de sun go down.
Git it 'cross de river 'fore de boss come' roun'.
Drag it on down dat dusty road.
Come Jerry let's dump dis load, Cryin'.

My ol' Jerry is a Arkansaw mule.
Been ev'ry where an' he ain't no fool.
Work git heavy, ol' Jerry git slow.
Pull so much, an' won't pull no mo', Cryin'.

Well de boss hit Jerry an' he made him jump!
Jerry r'ared an' kick de boss on de rump.
My ol' Jerry is a good ol' mule.
Had a been me Lord I'd a killed dat fool.

De boss tried to shoot ol' Jerry in de head.
Jerry duck dat bullet an' he stomped him dead.
Stomped dat boss till I wanted to scream.
Should a killed him 'cause he so dam' mean, Cryin'.

Timber, Timber!! Lord dis timber gotta roll.
"Come on you Jerry, Dam' yo' soul.
You know dis timber gotta roll."

/3rd Stage Keio/ Zigeunermelodien(ジプシーの歌)

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

この歌曲集『ジプシーの歌』は、1880年の冬、ドヴォルジャーク39歳のときに作曲された。ドヴォルジャークは、これまでも歌曲を多数書いてきているが、この歌曲集は後の歌曲創作の頂点ともいべき作品である。歌詞はボヘミアの抒情詩人アドルフ・ヘイドゥークの同名の詩集から選ばれた7篇である。これらの詩はジプシーの愛する音楽・自由・自然への賛歌ともいべき形をとり、遠い昔からジプシーが守り続けてきた何物にも束縛されず、また音楽に満ちた生活を歌い上げている。おそらく自由こそ何物にも代えられない大切なものとするこの精神がドヴォルジャークの心をとらえたのだろう。

『ジプシーの歌』はドヴォルジャークの作風を凝縮させた作品だと言えるだろう。ドヴォルジャークは、言うまでもなくスメタナとともにチェコ国民音楽を築いた人であり、また19世紀中頃ヨーロッパに起こった民族主義運動の中でも重要な人物でもあった。彼の音楽の特徴は、何と言ってもこんこんと湧き出す泉の水のような無限の美しい旋律、民族音楽の資源からの豊富な利用である。

ジプシーの音楽は、漂泊民族の特徴である舞踏を好む性格上、舞曲が多く、それも奔放で情熱に満ちた音楽である。彼らにとって音楽は流浪生活の唯一の慰めであり、感情の赴くままに歌い、踊り、楽器を奏する。そして演奏する楽器はヴァイオリン、ティンパロン（弦を小型のハンマーで叩いて音を出す楽器）、タンバリン、カステネット、アコーディオンなど比較的簡素な楽器である。

曲目解説

1. Mein Lied ertönt, ein Liebespsalm, 我が歌声響く愛の讃歌
歌曲集の冒頭を飾る力強い歌で、自然の中で営まれるジプシーの生活の何時如何なる時も歌があると哀愁を漂わせ歌い上げる。歌詞の中の「プスタ」とはハンガリーの草原のことである。
2. Ei, wie mein Triangel どうだい、俺のトライアングルは！
ジプシーのダンスを思わせる曲。ピアノはトライアングルの響きを暗示する。奔放で明るい歌だが、それは死に対する恐れを振り払おうとするためである。
3. Rings ist der Wald so stumm und still, まわりの森は静まりかえり
前の二曲と打って変わって静かな感傷的な曲でブラームスの影響が見られる曲。暗い森のなかで一人悲しみに耐える心を歌う、ロマン派的な曲。
4. Als die alte Mutter かつて年老いた母が
ドヴォルジャークの歌曲の中で最も有名な曲である。この詩はドヴォルジャークの感情に強く訴えたと言われる。ピアノの8分の6拍子に対し、4分の2拍子で歌われるメランコリックな雰囲気をもつ曲。

そして、ドヴォルジャークはこのティンパロンやトライアングルなどの効果をピアノ伴奏部に用いており、この歌曲集の民族色豊かな性格を形作る上で重要な役割を果たしていると言えよう。また全体的に舞曲風の曲が多いが、これにはジプシー音楽のみならず、チェコの民族舞踊のリズムも織り込まれている。ジプシー的なものとチェコ的なものを見事に融合させた結果、生まれたのがこの野性味溢れるこの歌曲集である。

ドヴォルジャークはボヘミアをこよなく愛していたが、チェコ語の原詩ではなくヘイドゥーク自身のドイツ語訳に作曲した。その理由については、ドイツ語の歌曲の方が一般に広く普及しやすいし、楽譜もよく売れる等、様々な理由が考えられる。また、この歌曲集がボヘミア出身で、当時ウィーンで活躍していた宮廷歌手グスタフ・ヴァルターに捧げられた事とも関連があるのかもしれない。

この歌曲集はもともとドイツ語に作曲されたものであるが、最近では原詩どおりチェコ語で歌われることも多い。ところが、ドイツ語の歌詞は実は二種類存在する。一つはヘイドゥーク自身が訳したものの。もう一つは、1955年にプラハで改訂版が出版された際、プロニスラフ・ヴェレックによって手が加えられたもの。本日は改訂前のドイツ語版で演奏する。

5. Reingestimmt die Saiten! 弦をととのえよ！
舞曲風の曲であり、第二曲同様、不安感を内に秘めた明るい情熱的な歌。歌詞に「ナイルのほとりで」とあるが、「ジプシー」という名は、この民族が東方から移動してきたためにエジプトを連想してつけられた名に由来する。
6. In dem weiten, breiten, 軽やかな麻の服を着れば
財産や他の何にも増して自由を愛するジプシーの自由の精神を力強く歌い上げる。歌詞のとおり全体的に軽やかで弾むような曲である。
7. Darf des Falken Schwinge 鷹の翼はタトラの峰を廻って
この曲も自由の精神を歌う曲で自然のなかでの生活の素晴らしいさを高らかに歌い上げる。曲集の終曲にふさわしいスケールの大きい歌である。「タトラ」とはスロヴァキアに広がる山地の名である。

1. Mein Lied ertönt, ein Liebespsalm,

Mein Lied ertönt, ein Liebespsalm,
Beginnt der Tag zu sinken,
Und wenn das Moos, der welke Halm
Tauperlen heimlich trinken.

Mein Lied ertönt voll Wanderlust
In grünen Waldeshallen,
Und auf der Pußta weitem Plan
Laß' frohen Sang ich schallen.

Mein Lied ertönt voll Liebe auch,
Wenn Heidestürme toben;
Wenn sich zum letzten Lebenshauch
Des Bruders Brust gehoben!

1. 我が歌声響く、愛の讃歌

俺の歌が響く、愛の讃歌が、
日が沈みかけ、
苔が、しおれた茎が、
真珠のような露をひそかに飲むとき。

俺の歌が響く、流浪の喜びに満ちて、
緑の森の広間で、
プスタの大平原で、
俺は楽しい歌を響かせる。

俺の歌が響く、愛にも満ちて、
荒野に嵐が狂うとき、
兄弟の胸が
末期の一息をつかんと膨らむとき。

2. Ei, wie mein Triangel

Ei, wie mein Triangel
Wunderherrlich läutet!
Leicht bei solchen Klängen
In den Tod man schreitet!

In den Tod man schreitet
Beim Triangel schallen!
Lieder, Reigen, Liebe,
Lebewohl dem Allen!

2. どうだい、俺のトライアングルは！

どうだい、俺のトライアングルは
何と素晴らしい鳴ることよ！
こんな響きを聞いたら
人間、気楽に死んでいけるさ！

気楽に死んでいける、
トライアングルが響けば！
歌よ、踊りよ、恋よ、
みんなお別れだ！

3. Rings ist der Wald so stumm und still,

Rings ist der Wald so stumm und still,
Das Herz schlägt mir so bange;
Der schwarze Rauch sinkt tiefer stets,
Und trocknet meine Wangen.

Ei, meine Tränen trocknen nicht,
Mußt and're Wangen suchen!
Wer nur den Schmerz besingen kann,
Wird nicht dem Tode fluchen.

3. まわりの森は静まりかえり

まわりの森は静まりかえり、
俺の心は不安に高鳴る。
黒い煙が舞い下りつづけ、
俺の頬を乾かしちまう。

ああ、俺の涙は乾きはしない。
もう一人の頬を求めているのさ。
悩みを歌にできるなら
死を呪ったりはしないものだ。

4. Als die alte Mutter

Als die alte Mutter
Mich noch lehrte singen,
Tränen in den Wimpern
Gar so oft ihr hing.

Jetzt wo ich die Kleinen
Selber üß' im Sange,
Rieselst's in den Bart oft
Von der braunen Wangen!

4. かつて年老いた母が

かつて年老いた母が
俺に歌を教えてくれたとき、
よく睫毛に
涙をためていた。

今、俺が子供達に
歌を教えようとする
涙が日に焼けた頬をつたい、
髭を濡らす。

5. Reingestimmt die Saiten!

Reingestimmt die Saiten!
Bursche, tanz' im Kreise!
Heute froh, und Morgen?
Trüb' nach alter Weise!

Nächster Tag am Nile
An der Väter Tische,
Reingestimmt die Saiten,
In den Tanz dich mische!

5. 弦をととのえよ！

弦をととのえよ！
若者よ、輪になって踊れ！
今日のうちは楽しく。明日は？
古い調べに泣くもよい！

いずれナイルのほとりで
ご先祖様の仲間入り。
弦をととのえよ、
踊りに加われ！

6. In dem weiten, breiten,

In dem weiten, breiten,
Luft'gen Leinenkleide
Freier der Zigeuner
Als in Gold und Seide!

Jaj! der gold'ne Dolman
Schnürt die Brust so enge,
Hemmt des freien Liedes
Wanderfrohe Klänge.

Und wer Freude findet
An der Lieder Schallen,
Läßt das Gold, das Schnöde
In die Hölle fallen!

6. 軽やかな麻の服を着れば

幅広くゆったりした
軽やかな麻の服を着れば
金や絹をまとうより
ジプシーは自由だ！

そうよ！ 金の紐ジャケツなど
窮屈に胸を締め付け
旅の喜びを自由な歌に託して
響かせるには邪魔になる。

そして歌の響きに
喜びを見出すのなら
黄金なんてつまらぬものは
地獄へ叩き落とせ！

7. Darf des Falken Schwinge

Darf des Falken Schwinge
Tatrahöh'n umrauschen.
Wird das Felsenest
Er mit dem Käfig tauschen?

Kann das wilde Fohlen
Jagen durch die Heide.
Wird's am Zaum
Und Zügel finden seine Freude?

Hat Natur, Zigeuner,
Etwas dir gegeben?
Jaj! zur freiheit schuf sie
Mir das ganze Leben!

7. 鷹の翼はタトラの峰を廻って

鷹の翼はタトラの峰を廻って
風に鳴るのがよいのだ。
岩間の鷹の巣を
鳥籠と代えたりしようか？

野の若駒は荒野を
自由に疾駆できるのだ。
くつわや手綱に
喜びを見出すだろうか？

ジプシーよ、自然が何か
おまえに与えたか？
そうよ！ 自然は俺に
一生涯の自由をくれたとも！

男声合唱のための組曲「若人のうた」(男声版初演)

早稲田大学グリークラブ

曲目について

この作品は、昭和39年、NHKの依頼で作曲され、岩城宏之指揮、東京混声合唱団により放送初演され、同年度の芸術祭賞を受賞したものである。原曲は混声四部であるが、男声版においてもその音の多さが特徴としてあげられる。特に、ピアノパートの音が非常に多く、激しい主張がなされるこの組曲は、合唱組曲というよりは合唱とピアノによるシンフォニーといっても差し支えないだろう。曲の内容は、現代の若者が、空にあっては風、海にあっては貝、大地にあっては草に例えられ、そのそれぞれの場所での、孤独感や、絶望、苦しみ、哀しみが歌われ、コーラスとピアノが競いあうように進められる。そして、第三曲目の最後になって、空、海で救われなかった若者は、やっと光り輝く緑の大地を発見するのである。

1. 風 言葉だけではコミカルとも思われる詩と、半音を多用した不安定な旋律、ハーモニーの二つが合わされることで、自分の

意志とは関係なしに風のなすがままに弄ばれ、すり切れ、ついには天の涯にまで飛ばされてしまう風の姿が抒情的に、時に激しく、哀しく描き出されている。

2. 貝 不安定なピアノの和音をきっかけに深海に貝は沈み、マリンスノウの降る深海の風景は幻想的に、貝の心情は激しく、雄弁に歌われ、リズムとテンポの展開が不安感、切迫感、絶望感を煽る。そして、救いの呼び声に歓喜するが、しかし、助けは来ない。深海はまた静寂に包まれ、貝は沈黙する。

3. 草 大地にアガった草は、荒野を風と水を求めて進んでいく。その歌は厚い音と、力強いリズムによって支えられ、雄弁に歌われるが、当てのない旅に疲れ、本当にそんなものがあるのかと疑問がよぎる。しかし尚も進む若人の前にコーラスとピアノの競演によって、緑の輝く大地が、力強くシンフォニックに歌い上げられる。—— 神馬豊彦 (本年度学生指揮者)

作曲家がみた宇野功芳の指揮——佐藤 眞

もう20年近くも前になる。宇野功芳が彼の手になる編曲も1曲携えて、わが家に遊びにきた。モーツァルトのA durのピアノ・コンチェルトK.488の第2楽章で、女声3部合唱にアレンジしてある。それに彼の作った詩が歌詞として付けてあった。それを私に見せながら、意見を聞かせてほしいと言う。

楽譜に目を通しはじめた私は、すぐにそれが、並はずれて鋭い音感に裏打ちされたものであることに気づいた。音の配置のさせ方や音域の変化に対する感性が、実に豊かで非凡なものを感じさせる。言うまでもなく、この曲に使われている和音そのものは、どれもこれもありふれた、わかりきったものばかりだ。音大の作曲科の学生位の力があれば、これらの和音を間違いなく取り扱う作業だけなら、目をつぶっても出来る。しかしそれはあくまでも「ひと通り間違いなく」というレベルの話であって、それ以上のこととなると、とたんに事情は天と地ほどに異なってくる。

同じ和音でもごく僅かな配置の違いによって、楽想に張りをもたしたり、旋律の動きを支えて、聴きごたえのあるものにする。紙の上で音をいじりながら、そのへんをしっかりと聴きわけける耳があるかないかが、音を書く人間の素質の良し悪しが大きく分れるところなのだ。

そのときの彼のスコアに、また彼と取り交した音の取り扱いに

関する会話に、彼の耳の確かさと繊細で豊かな感受性が充分に窺え、深く感銘したことを想い出す。「この人間が、もしも作曲の道を歩んでいたなら、きっとよい仕事をしたに違いない」との思いが、心強く湧き上るのを、抑えることが出来なかった。

作曲家にとって、演奏家の実力は、自作をやってもらったとき一番よくわかるものである。このことは昔から言われているが、私の体験に照らしてみても真実である。

この「若人の歌」の第2楽章「貝」は、とりわけ演奏がむずかしい。沢山の要素がいろいろまじっていて、作曲者の私から振っても、なかなかうまくまとまらない。ところが宇野功芳の指揮するCD「若人のうた」では、不思議な才能としか言いようのない洞察力をもって、この難曲をこともなげに、筋の通った音のドラマに仕上げてしまうのだ。これではまるで作曲者が彼に、この楽章のまとめ方を教えてもらっているようなものではないか。

たとえ無名でも実力のある人だな、と感心させられることもあれば、名の通った人でも誠にお粗末な能力しかない虚名の演奏家も少なくない。そんな状況の中で、わが宇野功芳の指揮は、その作品の作曲者をも敬服させずにはおかない読譜力、音感覚、構成力、説得力をもって光り輝き迫ってくるのである。

—— CD解説より ——

一・風
夕ぐれの
あかねの空に
風がとぶ
ああ放れ風
おろしておくれ
骨が折れるよ
目がまわる
風が痛いよ
凍えそうだよ
おろしておくれ
雲のかげらに
ささった奴風
天へ天へ
天へ天へ
ああハクション
月までとんで何になる
月に兎はもう居ないのに
いやだいやだよ
いやだよいやだ
どこへ行きたいわけじゃない
みんながみんな
ソッポ向き
もうおしまいだ
皮が破れて肉はとび
骨一本の奴風
ああだが
無重力
舞いあがる
ああ
くるくるくるくる
ああ
くるくるくるくる
ああ
空よ光よ
風よ地球よ
さようなら
さようなら

泣くに泣けない
星の涯
天の涯野郎！
二・貝
深海にひとつ
貝が沈んだ
貝柱をきませ
貝が沈んだ
ゆらゆら
ゆらゆら
のしかかる
幾千万トン
音もなく影もなく
マリンスノウは降りしきる
動けない
歌えない
かえれない
……
誰かきてくれエー
舌先三寸
声も言葉ももう要らぬ
舌なら浮かんで行くだろう
貝は静かに噛み切った
たった一つの自分の舌を
へ地球の海を駆けめぐれ
貝はその舌に記した
からをたいてタイプを打った
カタカタカタカタ チン
カタカタカタカタ チン
へ来てくれこた
貝はただ
ただ待った
へ死んでなるものか
そして聞こえた呼び声が

へ来た来た来たんだ
へどこのどこの
どこの
へこた
ここに居るんだ
へどこのどこの
どこの
へちがうちがう
ちがうー
ああなんとしよう
音もなく影もなく
マリンスノウは降りしきる
海鳴りばかり
鳴り響く
三・草
なんてことだ
土もない
空もない
のべらぼう
俺の国かい
若草 醜草 枯草
しおれ草 青草 芝草
七草 千草
一株の私
一株のあなた
一株の雑草
山河をひたし
ひろがり進む
不思議の都
ひろがり進む
生まれつきの骨なしが
ひろがり進む
ひかるひかる
ひかるひかる
みどりの大地よ
ひかるひかる
ああ
ひかる
ああ

一株の私
一株のあなた
一株の雑草
草はさまよう
草は漂う
あなたは私
どこへ行く
風よ水よ
風よ水よ
あるものか
そんなもの
なんてことだ
土もない
空もない
のべらぼう
俺の国かい
若草 醜草 枯草
しおれ草 青草 芝草
一株の私
一株のあなた
一株の雑草
山河をひたし
ひろがり進む
不思議の都
ひろがり進む
生まれつきの骨なしが
ひろがり進む
ひかるひかる
ひかるひかる
みどりの大地よ
ひかるひかる
ああ
ひかる
ああ

/Joint Stage/

オペレッタ「メリー・ウイダー」より

オペレッタ《メリー・ウイダー》の世界———演出家・日本オペレッタ協会会長・寺崎裕則

●フランツ・レハールについて

フランツ・レハールは、1870年4月30日、ハンガリーとチェコの国境に近いコマーロムで生れた。父はドイツ系のチェコ人の軍楽隊長で、かつてはスツペカ指揮をしていたウィーンのヨーゼフシュタット劇場でホルンを吹いていたこともある。母はドイツ系のハンガリー人で、両親ともドイツの血をひく音楽一家であった。1882年、ヴァイオリニストを志しチェコの首都プラハの音楽院に学び、そこで師ドヴォルザークと出会い、作曲の才能を認められ、それを天職とする。1888年、音楽院を卒業、すぐに作曲だけでは生計がたてられないので、エルバーフェルトの歌劇場のヴァイオリン奏者になるが、忙し過ぎてとても勉強する暇がなく、父の軍楽隊に入り、ブダペストやウィーンで軍楽隊の指揮をしながら作曲に研鑽をつむ。

1896年、ライプツィヒの歌劇場で初めてオペラが上演されるが、当時のオペラ界はリヒャルト・ワーグナーが大きな影を落している。そうしたオペラが自分の資質に向いていないと判断し、ヨハン・シュトラウスに心酔していたこともあってオペレッタの道を歩むようになる。1899年、ワルツ《金と銀》を発表、ウィーン中でもはやされ、出世作となる。時に29歳であった。

1902年、念願かなって当時のオペレッタの総本山テアター・アン・デア・ウィーンの指揮者となり、同年11月、ツィラーの《観光案内人》の好評のあとを受け、初めて本格的なオペレッタ《ウィーンの女たち》を上演した。ハンガリーの情熱とウィーンの繊細さと楽しさを併せもったレハールのオペレッタは実に新鮮でオペレッタ好きのウィーンっ子を魅了した。とりわけ、メロディの美しさは題名通り、ウィーンの女たちの女心をとらえてはなさなかった。

ワルツ王も大変なメロディ作家だが、レハールは20世紀という新しい時代のメロディ作家である。そのメロディの美しさは、憂愁を秘め、甘美で、ほんの少しばかり不健康で、人工的で、萌たけていて、官能的で、大人の男女の機微、男心女心、人情の機微を包んで、人の心にせつせつと訴えてくる。

例えば、それは手でさわったら壊れてしまいそうなガラス細工のワルツの花籠に、青白く燃える情熱の焰の花が活けてあるような風情である。

そのレハールの才能が一気に花開いたのが、《メリー・ウイダー》だ。

●《メリー・ウイダー》のできるまで

彼の才能をいち早く見つけたのが、《ウィーン気質》の台本作者ヴィクトール・レオンとレオ・シュタインの二人で、レオンはブルク劇場の劇作家兼演出家として活躍していたが、たまたまパリに遊んだ時、オッフェンバックのオペレッタの台本を殆ど書き、ウィーンでは《こうもり》の作者として知られるアンリ・メイヤックの「大使館付随員」という喜劇を見て、これはいける、と同行していたシュタインと意気投合、ウィーンに持ち帰り、白羽の矢を若きレハールにあてた。

早速、テアター・アン・デア・ウィーンの総監督ヴィルヘルム・カルチャーに話を持ち込んだが、台本にはのったものの作曲家をしぶり、5年前《オペラ舞踏会》で一世を風靡したリヒャルト・ホイベルガーに頼み、柳の下のだじょうを狙った。だが、結果は少しも新鮮でなかった。一方、レオンはあきらめきれずレハールに「お馬鹿な騎士さん」の詩を見せた所、あっという間に作ってきた。聞けば面白い。カルチャーを何とか説得してレハールに決めたものの余り乗り気ではなかった。彼には《ウィーンの女たち》だけでは心配だったのだ。

その証拠に、12月末の客の一番来ない季節を選び、実験的にこの新人のオペレッタを上演しようとしたし、舞台稽古もマスコミ関係の報道陣や批評家を一切シャットアウトするありさまだった。ところが音楽批評家のルードヴィヒ・カルバートだけはうまくまぎれ込み、客席のうしろで見ている。そして序幕が終った途端、プロデューサー達に叫んだ。「君たちはなんて馬鹿なんだ。初日がこの舞台稽古通りにいったら、テアター・アン・デア・ウィーン始まって以来の大成功になるぞ。」

嬉しかったのはレハール、ほっとしたのは推薦者であるヴィクトール・レオンとレオ・シュタイン、未だ半信半疑のプロデューサーたち。それでもやっと冷え冷えした舞台稽古の雰囲気も変わり、2幕目の《ヴィリアの歌》《メリー・ウイダー・ワルツ》、絶唱《王子と王女の物語》でようやくこのオペレッタの新しい魅力にプロデューサー側も気づき、カルバートの予言通り、初物嫌いのウィーンにしては大成となり、やがて評判は評判を呼び、ウィーンはおろか世界中にもてはやされ、人々はレハールの音楽に酔った。

当時は、それほど革新的なオペレッタだったのである。
(日本コロムビア株式会社CD「オペレッタ《メリー・ウイダー》第3幕」より転載)

あらすじ

第一幕 パリのポンテヴェドロ公国公使館の広間

ポンテヴェドロ公国君主の誕生祝賀パーティー。ホストの公使ゼータ男爵は、ある問題に頭を悩ましていた。公国の全財産を支配すると言われた大金持ち、故グラヴァリ氏の若い未亡人ハンナがパリに遊びに来ており、彼女の財産と美貌を狙ってパリの伊達男たちが彼女に近づこうとしているからだ。公国破産の危機を免れるため男爵は書記官ダニロ・ダニーロヴィッチに彼女を守らせることにしたが、肝心の彼がまだ現れない。一方男爵の美貌の妻、貞淑なヴァランシエンヌは余りに熱心に口説く男、カミーユ・ド・ロションに何度もよめめきかけていた。そして「メリー・ウイダー」ことハンナ・グラヴァリ夫人の登場。カスカーダ、サン・ブリオシュといった男達が一斉に彼女に群がるが、目的を知っている彼女はまともに取り合わない。そこにダニロが、マキシムでのどんちゃん騒ぎから朦朧とした状態で現われる。

顔を合わせるハンナとダニロ。実はこの二人、かつては恋人であり、平民のハンナとの結婚を反対され、ダニロは傷心パリへ、ハンナは富豪グラヴァリの妻へと別れ別れになっていたのだ。舞踏会も終りに近づき、御婦人方が相手を選ぶ番となった。必死にハンナに売り込む男達。これを見たダニロは別室から御婦人方を呼び、男達を選ばせて急場を凌いだ。肝心のハンナはダニロを選ぶのだが、彼は何とその権利を一万フランで売ると言い出し、男達は呆れて立ち去っていく。そしてダニロは、怒るハンナを無理に抱えて踊り始めるのだった。

第二幕 パリのハンナ邸の庭

ポンテヴェドロ情緒たつぷりの夜会。ハンナは「ヴィリアの歌」を歌う。ダニロは今も彼女を愛しているが、財産目当てと思われるのが癪で素直になれない。彼女も何とか彼の心を開こうとするが上手くいかない。一方ハンナとの結婚を狙うカス

カーダとサン・ブリオシュが口論を始め、二人をいさめるダニロにゼータ男爵も加わって「女・女・女」のマーチが始まる。

カミーユは相変わらずヴァランシエンヌを追い回していた。たまりかねた彼女、彼にハンナとの結婚を勧めると、彼は従う条件としてその四阿で思い出に残る一時を求める。甘美な歌に彼女も折れ、二人は四阿に消えていく。

ゼータ男爵の登場、四阿に気配を感じて鍵穴を覗くと、どうも女房らしい。ところが扉を叩き開けてみるとカミーユとハンナではないか。ヴァランシエンヌの危機を知ったハンナが、裏口から彼女と入れ替ったのだった。

驚く人々にハンナは、行き掛かり上カミーユとの婚約を告げる。ショックを受けたダニロは「王子と王女」のたとえ話から本心を打ち明け、マキシムへと去り行く。ハンナは彼の本心を聞けたと喜び、歌い踊るうちに第二幕は終る。

第三幕 マキシム風に飾られたハンナ邸

陽気な行進曲と共にマキシムの踊り子達とヴァランシエンヌが登場、陽気に歌い踊る。彼女らを追ってダニロも登場し、そこで「グラヴァリ夫人の財産が守られない限り国庫は破産」との電報を受けたゼータ男爵からハンナとの結婚を迫られる。意を決し、現われたハンナの手を取り「高鳴る調べに…」と思いを歌い上げるダニロ。ハンナもこれに答えて歌い、二人は固く抱き合って踊るのだった。

一方ゼータ男爵は四阿で見つけた扇子から四阿にいたのはやはりヴァランシエンヌだったと離婚を宣言、ハンナに結婚を申し込む。ところが彼女は遺言により再婚の際には全財産を失うと言い出したので、男爵は引き下がり、逆にダニロは素直に結婚を申し込む。ハンナはダニロを受け入れ、「遺産は再婚すれば新しい夫のものになる」と説明する。男爵はヴァランシエンヌに言われて扇子を見ると「私は貞淑な人妻です」と書いてあるので一安堵。かくしてめでたく幕を閉じる。

演奏会に寄せて

「メリー・ウイダー」は私のオペラデビューとなった曲である。10年ほど前になる。オーケストラピットに入るたびにドキドキ・ワクワクしたものだ。それは毎回、歌手の歌い方が違うのと、ハプニングが起きる楽しみがあるからだ。ハッピーエンドになることを知りつつも、ハンナとダニロのやりとりにはハラハラしたり、ワルツを演奏する時は胸が熱くなったりする。ハンナの気持ちは、同じ女性としてどんな場面でも手にとるようにわかるのであるが、ダニロのことにになると、どこまで理解できるか疑問になってくる。「あなたはメリー・ウイダー・ワルツはとても上手に振るけれど、ダニ

ロの登場の歌があまりわかっていないでしょ。」と言われたことがある。要するに「酔っぱらった男性の気持ちがわからないのだ」と、その人は言いたかったのだ。オペラを指揮している時は、舞台のハンナとダニロの二人の気持ちを追いかけているのだが、グリークラブ、すなわち、たくさんの男性を目の前にした時、果してどんな状況になるのだろうか。グリーのメンバーはダニロの男心を切々と歌い、私はハンナの気持ちを表現するという不思議な接点が舞台の上で見られるのかもしれない。そして何よりもダニロの気持ちがわかるようになるだろうと期待をしている。

1. ハンナの登場とアンサンブル

華やかなバリの世界に まだ打ち溶けられない私なのよ
私の国では それ程まで 甘い言葉などかけはしない
お目当てはまさか私よりも 私の持つお金じゃないの？
気にしないで！ 人は言うでしょう やもめは素敵だと
その上にお金があれば もっと素敵だと！ アー！
そりゃひどい お金など欲しくはない！
その通りだよ やもめとお金だ！
お金こそ大事と 人は言いますわ
どうぞ さア もっと さア続けて その先はどうなの？
私の国での慣らわしては 女にお世辞など誰も言わない
でも甘い声をかける時は 嘘いつわりなく 誠の愛
彼女の素敵な魅力 ますますとりこになる
気の抜けたお世辞 私にはわかる
そりゃひどい！ お世辞とは そう本気だよ！
いえ 奥様 僕等も本気だよ！
そう そう そう そう
無理にお世辞は言わぬか花だわ
信じてください！ まじめな気もちだ！
そうよ！
僕は本気だよ！

2. ダニロの登場の歌

祖国の為なら 日がな一日中 務めもするけど
あんまり働いたら 命が危ないぜ
嫌いだ会議は 書類は面倒だな
せめて夜だけは 手脚を延ばして 命の洗濯さ
いつもおなじみの 僕の大好きな 素晴らしい所
つまり そこへ行けば 華やかに開く陽気なバリの夜
次から次へと きれいな娘が来て
気がるに抱き寄せ 頬をふれあうさ
あのマキシムは 僕の世界
そばへ来る娘を抱いてキスする
ロロ ドド ジュジュ クロクロ マルゴ フルフル
やがて忘れる浮世のつらさ 手と手を組んで 踊るだけさ
酔えば酔うほど楽しくなるぜ
ロロ ドド ジュジュ クロクロ マルゴ フルフル
やがて忘れる浮世のつらさ

3. マーチ

女を いとめる 手だては いかに
なにひとつないぜ 神様でもさ
あのこを なびかす 手だては だれも
手に入れているない おえらい学者も
ちやはやしてみても あの手の手も
だめだよ むげなのだ あの手の手も
えらくみせてみても あの手の手も
なぐりつけてみても あの手の手も
ねこなで声も だめ あの手の手も
おこると 泣き出すし あの手の手も
ほめれば つけあがるし あの手の手も
なににもかも さえない あの手の手も
さて女というものは はかり知れないなぞだ
まことにややくしく それが 女 女
きよくやさしい乙女 そのうぶな瞳も
赤毛 黒毛 そめ毛 どれれ 男をまよわす
やれやれ やれやれ 女 女 女 女
女 女 女 女 女 ああ！
さて女というものは はかり知れないなぞだ
まことにややくしく それが 女 女
きよくやさしおとめ そのうぶな瞳も
赤毛 黒毛 そめ毛 どれれ 男をまよわす

4. ロマンス

心の庭のバラの花は 君のめぐみの日ざし受けて
暖められて花ひらくよ 愛の花びら ゆめの花よ
おさえられない 胸のなやみ 恋しさつり ひらく花よ
高くこずえに 日陰したい 唄う小鳥のなげきに似て
燃える心に答えたまえ
ああ あずまやでなら 人の目にふれずに
最後の口づけをかわすことが出来る ひそやかな闇の中で
さア あずまやに行こう あまいひとときを いざ
最後の口づけを かわすことが出来る ひそやかな闇の夜も
愛の炎もえて あかるくかがやけよ

5. ヴィリアの歌

わがなつかし故郷よ なつかしはるかな空よ
緑の草原に春の陽あびながら
愛する乙女たち 手をくんで踊るのだ
はるかなわが国よ ヘイ！
遠い故郷を いつも思い出す
なつかし あのうた 恋のヴィリアのうた
その名はヴィリア 森の精 森のおくに暮していた
ひと目で恋にとらわれた ふしあわせな若者は
悩みにもだえ 思いは乱れる あつい吐息と共に
ヴィリア オ ヴィリア 森の精 うるわしの面影よ
ヴィリア オ ヴィリア わが恋をとげさせたまえ
娘は手をさしのべて 彼を家にみちびけば
身も心もとけるほど 熱い恋に酔いしれた
そのときとつじよ その娘は消えた 愛のかたちもなく
ヴィリア オ ヴィリア 森の精 うるわしの面影よ
ヴィリア オ ヴィリア わが恋をとげさせたまえ

6. ワルツ ～ フィナーレ

ささ こちらに御婦人方よ
このワルツに合わせ調べが甘く響けばいつか足取りもはずむよ
ささ こちらへ皆様方 殿方はすでにお待ちですから
ささ こちらに さアどうぞ
野に咲く花々の 萌え立つ色に似て
きらめき鳴りわたる楽の調べ
世にもたえなメロディー いつか踊りを誘う
踊れ いざや 皆楽しく 夜のあけるまで
このリズムに誘われて このワルツに合わせ 調べが甘く響けば
いつか足取りもはずむよ
踊れ踊れ 軽やかに 楽しく舞い踊れ
歌えはがらかに この調べのつきるまで
高なる調べに いつか 心のなやみもとけて
言わねど知る 恋心思う人こそ 君よと
調べにつれ ときめく胸 この思いを告げよと波うつ
口はとじても 心にはかよう 愛の 甘きささやき
言わねど知る 恋心 思う人こそ 君よと

全力で、いく。
リゲインで、いく。

MOTOKI MASAHIRO

Regain 医薬品 肉体疲労時の栄養補給、
滋養強壮に
リゲイン ②291円+9円(税) リゲイン48 ④485円+15円(税)



同志社グリークラブ顧問 澁谷昭彦

最近の学生諸君は、平準化されてしまっていて面白くないと言われている。学業中心主義の教育の結果として、偏差値によって輪切りにされた規格品の学生諸君のみが大学にやって来る。世間では、学業も大事だが効率一点張りではなく、もう少し人間味のある教育が出来ないものかと、議論百出である。

能率主義、効率主義は、なにも学業だけではなく、スポーツや音楽の分野にも認められる。勝負にこだわって、豪快さを欠き、本来のスポーツとは無縁の、なにかチマチマした感じのするゲームなど、やる気はしないだろうし、ましてや、見るのはまっぴら

である。また、技術やフォームにばかりこだわって、肝心の勝負どころで、いっこうにピリッとしないうというのも、困ったものである。

コンクールの利点は認めつつも、その弊害をいち早く察知し、四大学がコンクールに出場しなくなってから久しい。高度の技術の修得は必要であるが、人間を限りなくマシンに近づけたところで、「仏造って魂入れず」では、元も子もないことを四大学の諸君が一番よく知っている筈である。

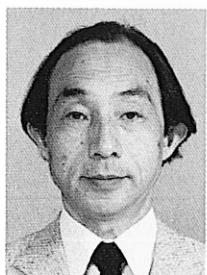
今日ここにやってきた人々は、コンクール以上のものを求めていると思う。四大学の、それぞれに味のある、個性豊かな演奏に期待するところ大である。



関西学院グリークラブ顧問 今田 寛

また一年が巡り若葉の匂いのする東西四大学合唱演奏会を迎えることになりました。このいわゆる四連のイメージは、青空を背景に堤の上に並び立つ四本の新緑の大樹のそれです。前年の四年生を送りだした後の新体制で、まだ一年生が戦力にならないこの時期にもたれるこの交歓演奏会は、それぞれの団のその年の成長を加速させる重要な意味があるように思います。新学年開始以後の限られた時間の中で、この日のためにそれぞれの団は努力を積み上げてきたと思います。大切なことは並び立つ四本の大樹が、あるものは楯であったり、あるものは櫓であったり、その樹種が

異なることで、それが同一樹種であっては面白くありません。その異なる特徴の四本が四パートとなって全体としてよい演奏をするところに四連の美しさがあるのではないのでしょうか。それぞれの団の中においても、個人のレベルで、私は私であることを芯のところでしっかり保ちながら、全体としての共通目標に集中することが大切であるように、それより一つ高い水準のところで、わが国の学生男声合唱団を代表する四つの団が、過去一世紀近く維持してきたそれぞれの特徴を誇りとし主張しながら、全体としてよい演奏会をもつ姿、それが四連の美しさだと思います。今日の演奏会の成功を祈っております。



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団部長 神谷傳造

関西学院、同志社、早稲田の各グリークラブの皆様とともに、いつものように東西四大学合唱演奏会を開催するはこびとなりましたことを慶びたいと存じます。この演奏会を通して、たがいに学びあい、そして親睦を深めることができるようにと祈ります。

慶應義塾ワグネル・ソサィエティーは明治34年の創立であり、西洋音楽を演奏する音楽団体としては日本最古といわれています。現在は、オーケストラ、男声合唱団、女声合唱団がそれぞれ独立

に活動していますが、音楽の理解を深めることを通じて人格の陶冶に励もうとのワグネル・ソサィエティー創立者たちの希望を大切にすることにおいて、みな一致しています。

この合唱団の今日あるのは、歴代の常任指揮者の諸先生、とくに本日指揮をおとりになる畑中良輔先生をはじめ、先輩諸兄姉の厳しいご指導と温かいお心遣いの賜であります。ここに心から感謝の意を表する次第でございます。

本日はご来場下さいまして有難うございます。

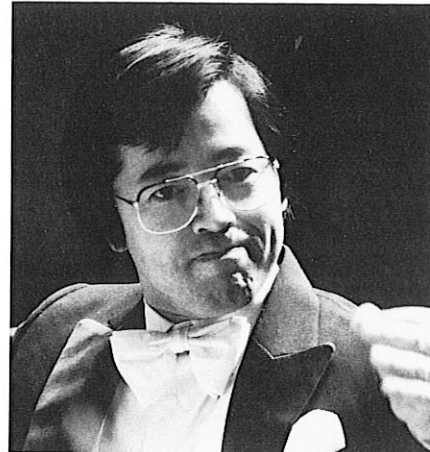


早稲田大学グリークラブ会長 上田 稔

今回の曲目『若人のうた』は、東京芸大作曲科教授であられる佐藤真先生が、男声合唱用に新しく編曲なさって下さった、いわば「男声版」の初演であります。伝統ある我がグリークラブが、意欲的に取り組もうとして選んだ曲目であり、指揮者には宇野功芳先生をお願いし、ピアノは作曲なさった佐藤真先生ご自身が当たられ、万全の体制で、この「男声版」『若人のうた』の初演を計画して参りました。どんな成果が得られるかは分かりませんが、部員一同が一丸となって、我がグリークラブの持ち味を十分に生

かした立派な演奏をすることを会長の私も心から願っておりますし、東西四大学のエースの男声合唱団の一つとして、恥ずかしくない演奏をお聞かせ致したいという気持ちは、すべての部員共通のものでもあります。

私どものクラブの情熱を傾けた演奏を、きっとお聞かせ出来るのではないかと期待いたしておりますが、どうか、その成果をじっくりお聞き下さり、今後のクラブの一層の発展の為に、皆々様の忌憚りの無いご意見、ご評価、ご批判を賜ります様、心よりお願い申し上げます。



同志社グリークラブ
指揮者

黒岩英臣

1942年東京に生まれる。1960年桐朋学園大学指揮科入学、故斎藤秀雄氏に師事した。在学中はステージ、ラジオ、テレビ等で同大学オーケストラを指揮する他、ヴィオラ奏者としてNHK「朝のリサイタル」等に出演。ピアノ奏者としても活動した。

1964年、同大学弦楽オーケストラのアメリカ公演に指揮者として同行、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ等で指揮した。

1965年同大学卒業、NHKテレビ「今年のホープ」に出演。同年、修道士となり1975年まで修道生活を送った。その間、神学、哲学、ラテン語、グレゴリアン、ポリフォニーを学び、典礼音楽の指揮、作曲を行う。

1976年、再び音楽に専念、東京都交響楽団音楽教室などを指揮し、77年1月都響ファミリーコンサートの演奏で「久方ぶりに現れた優れた資質をしかと感じさせる新人」と絶讃され、一躍脚光を浴びた。

1978年夏には、パークシャー・ミュージック・センターにクーセヴィツキ記念フェローシップ・コンダクターとして参加、研鑽を積む。

札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団の定期演奏会をはじめ、東京の主要オーケストラとの共演も数多く行っており、今後の一層の活躍が期待されている。

1981年9月から88年4月まで九州交響楽団常任指揮者を務める。

1985年8月から神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者を務め、1988年4月からは関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者。



ピアニスト

久邇之宜

国立音楽大学ピアノ科卒業。

近藤孝子氏に師事。卒業後、畑中良輔氏の勧めもあって、声楽伴奏者としてデビュー。伴奏法を小林道夫氏に師事。曾我栄子氏の全R.シュトラウスによるプログラムリサイタルがそのデビューであったが、朝日新聞、音楽の友誌上等で賞賛された。以後二期会・NHK・東京室内歌劇場で活躍する。

その後さらに研鑽を積むため'79-'81年にウィーンに留学、ウィーン国立音楽院に入学し、作曲家ローベルト・ショルム氏のもとで伴奏法等を学んだ。当地でORF（オーストリア国立放送）にも出演。

帰国後は、声楽伴奏者として活躍を再開しその評価も高い。声楽及び器楽その他合唱に興味をもち、合唱音楽のCDを東芝EMIより多数リリース、またビクターからは松本美和子氏の「トスティ歌曲集」で、ピアニストをつとめる。



関西学院グリークラブ
常任指揮者

北村協一

昭和29年に関西学院大学経済学部を卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後東京コラリアーズ入団。昭和36年藤原歌劇団入団、昭和38年同団によるプッチーニ「外套」を指揮し好評を博す。昭和40年に同団を退団。昭和43年、二期会合唱団常任指揮者、昭和45年二期会指揮者となる。昭和48年に第6回文化庁芸術家海外派遣生として渡欧。

平成元年、関西学院グリークラブヨーロッパ演奏旅行に同行、ウィーン楽友協会大ホールに於いてチェコ国立室内管弦楽団と共演し、L.ケルビーニ作曲の「Requiem in d-moll」を指揮。同じく、平成4年にも関西学院グリークラブアメリカ演奏旅行に同行、ボストンシンフォニーホールに於いて、A.コープランド作曲の「Old American Songs」を指揮する。また1990年より故福永陽一郎氏の後を継ぎ、藤沢市民オペラに於いてグノーの「ファウスト」の指揮をし、見事、その代役を果し、以後、同オペラの指揮を務め、1992年にモーツァルトの「魔笛」の指揮を成功に導いている。

関西学院グリークラブをはじめとして、多くの合唱団の指導にあたり特に黒人霊歌の解釈には定評がある。近年、合唱曲の中でも、現代曲を積極的にとりあげ、合唱の発展に貢献している。

故森正、今村征男の各氏に師事。現在、国立オペラ研修所講師、東京室内歌劇場、二期会合唱団音楽監督、神戸市混声合唱団常任指揮者。



慶應義塾ワグネル・ソサエティー男声合唱団
専任指揮者

畑中良輔

東京音楽学校卒業。宮廷歌手ヘルマン・ヴァーハー・ペニヒ博士に師事。リリックな声を持ち、その音楽的解釈力の深さと卓越した演技力は、デビュー当時より高い評価を受けてきた。特にオペラではモーツァルト歌手として第一に立ち、「魔笛」のパパゲーノ、「フィガロの結婚」のフィガロをはじめ、モーツァルトのオペラの本邦初演の主役のすべてをつとめた。イタリア、フランス・オペラでは、世界の名歌手、タリアヴィーニと「ボエーム」「ウェルテル」、ゲルハルト・ヒュッシュと「ドン・ジョヴァンニ」などを共演し、オペラ上演史に輝かしい記録を残した。歌曲ではドイツ歌曲・日本歌曲に造詣深く、特に日本歌曲のプログラムで全国縦断連続リサイタルを行い、啓蒙の役割を果たしたことは特筆に値する。又作曲の面では抒情的な歌曲作品が多く、「畑中良輔歌曲集」が全音楽譜より出版されている。評論の面では28年にわたり朝日新聞の音楽評を書き続け、「演奏家的演奏論」「演奏の風景」「朝日試聴室」などの著書がある。また、教育者としては弟子の多くのすぐれた声楽家が、日本はもとよりヨーロッパでも第一線の歌手としてオペラに歌曲に活躍している。日本演奏連盟常任理事、全日本合唱教育研究会会長、日本音楽コンクール運営委員をはじめ、多くの役職をつとめ、文部省の教育課程審議会の重責をも担っている。東京芸術大学名誉教授、慶應義塾大学特選塾員、第二国立劇場芸術監督、藤沢市民会館文化担当参与、(財)藤沢市芸術文化振興財団理事、水戸芸術館音楽部門芸術総監督、昭和60年紫綬褒章受賞。



ピアニスト

谷池重紬子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。同大学卒業演奏会・新人演奏会出演。卒業と同時に伴奏の道に入る。合唱・声楽リサイタルの伴奏を行っている。

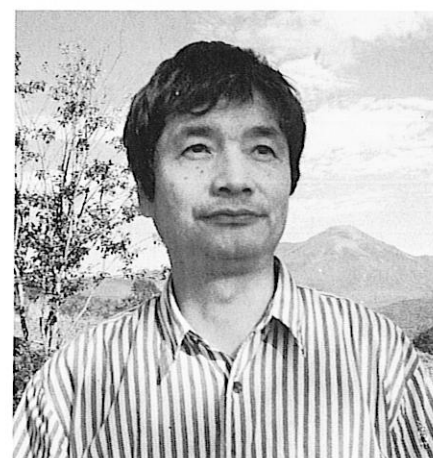
現在、二期会・国立オペラ研修所の伴奏者。



早稲田大学グリークラブ
指揮者

宇野功芳

1930年東京都出身、国立音大音楽科卒。音楽評論の第一人者として、「レコード芸術」「音楽の友」「音楽現代」等にレギュラー執筆を続けている。指揮活動は1966年KTU女声合唱団を指揮して以来、演奏会と録音に活躍、合唱指揮者として確固たる地位を築く。1984年からオーケストラ指揮を手がけ、89年からは年一回の基本ペースで新星日響を振っての演奏会を開始、その「凄演」ぶりがファンを熱狂させ、楽壇に衝撃を与え続けている。著作としては「クラシックの名曲・名盤」(講談社現代新書)が10万部を越えるベストセラーを記録、ほかに、「名演奏のクラシック」「交響曲の名曲・名盤」(同前)など、CDは女声合唱を集めた「幻のコンサート」「幻のコンサートふたたび」(以上アート・ユニオン)、「水のいのち」(フォンテック)、ベートーヴェン「第9」(キングレコード)、ブルックナー「第8」(ポニー・キャニオン)などがある。



作曲家・ピアニスト

佐藤 眞

昭和13年茨城県に生れる。昭和36年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。昭和38年東京芸術大学音楽学部専攻科修了。

作曲を下総皖一、池内友次郎、ピアノを井口秋子、指揮を山田一雄の諸氏に師事。現在、東京芸術大学音楽学部教授。

主な賞歴としては、昭和36年音楽コンクール作曲部門第1位併せて特別作曲賞を受賞、昭和39年芸術祭賞(文部省主催)、昭和47年トリノ市賞、昭和50年イタリア賞グランプリ、昭和59年芸術祭大賞(文化庁主催)、平成元年江戸川区文化功績賞、平成2年下総皖一音楽賞などの受賞がある。

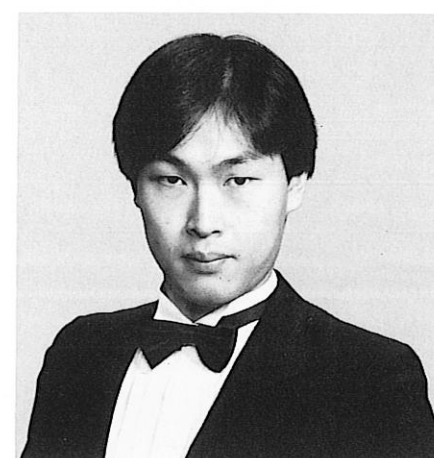
主要作品としては交響曲第3番、第4番、オペラ「奇跡の手」、管弦楽のための変奏曲、交響的変容ピアノ協奏曲、管弦楽のための協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、歌曲、合唱曲等多数がある。



合同演奏
指揮者

松尾葉子

名古屋生まれ。1975年お茶の水女子大学教育学部音楽科を卒業後ただちに東京芸術大学指揮科に入学。渡辺暁雄、小林研一郎両氏に師事した。1979年東京芸術大学大学院に進み、1981年フランスに留学。ピエール・デルヴォー氏に師事し、1982年ブザンソン指揮者コンクールで女性としては史上初めて、日本人として小沢征爾氏に次いで二人目の優勝を飾った。同年帰国し、名古屋フィルを指揮してデビュー。以後、NHK交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、読売日本交響楽団、日本フィル、新星日本交響楽団などを次々と指揮し高い評価をえている。1984年には、女性だけのオーケストラ「レディース・オーケストラ・ジャパン」、二期会公演オペレッタ「メリー・ウィドー」など話題の演奏会をはじめ、京都交響楽団、大阪フィル、九州交響楽団、東京都交響楽団を指揮した。1985年秋には、1984年のオペラ指揮の実力が絶賛され、文化庁移動芸術祭および関西二期会公演の「メリー・ウィドー」を指揮した。海外での活躍では、1982年のブザンソンコンクール以来ベルギーのブリュッセルラジオ放送オーケストラの録音、コンサート、ブザンソン市オーケストラ、トゥルーズ管弦楽団、パリ・シャンゼリゼ劇場でのラムルー管弦楽団など数多く指揮している。1982年より東京芸術大学指揮科講師。



ピアニスト

鈴木織衛

静岡県清水市生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。東京芸術大学大学院修士課程修了。東京芸術大学在学中には、指揮者松尾葉子氏に師事して研鑽を積む。

東京室内歌劇場公演、森潤子作曲「貝がらの歌」を指揮。静岡県オペラ協会公演「コシ・ファン・トゥッテ」を指揮。作曲家中田喜直氏とのジョイントコンサートに出演。二期会ミュージカル「サウンドオブミュージック」を指揮。東京芸術大学モーニングコンサートに於いて東京芸術大学管弦楽団を指揮。また現在まで、斎田正子氏、錦織健氏人気アーティストのピアノ伴奏者として多くの公演に参加。古典から現代に至る幅広いレパートリーと高い芸術性を持ち、将来を嘱望されている逸材である。

以上に述べた彼の才能によって日本では珍しく学生時代からオペラ制作の現場に関わり、文化庁移動公演・二期会・日生劇場・モーツァルト劇場・アリオン音楽財団等における、オペラ公演の副指揮・合唱指揮を行い、オペラ制作における貴重な人材としても高く評価されている。また平成5年度は文化庁インターンシップ奨学金を受けオペラ指揮についての研究を行うことになっている。現在、東京芸術大学付属音楽高校・常葉学園大学講師。



ソプラノ独唱者

加藤千春

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ科修了。児島百代、戸田敏子、朝倉蒼生の各氏に師事。

同大学卒業演奏会（同声会主催）に出演。同大学院オペラ科定期公演「魔笛」の夜の女王役でオペラデビュー。神奈川オペラフェスティバル実行委員会、横浜シティオペラ主催「コシ・ファン・トゥッテ」ではデスピーナ役をつとめた。オペラの他にも、オラトリオ「エリヤ」のソプラノ独唱、横響「カルメン」(演奏会形式)では、フラスキータ役で出演、同横響「第九演奏会」でのソプラノ・ソリスト、そして茅ヶ崎市の「第九」においては、ソリストとして松尾葉子氏と初めて共演した。

現在、横浜シティオペラ会員、二期会オペラストudio第37期マスタークラスに在籍。



ヴァイオリニスト

浅井万水美

愛知県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。昭和58年東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校入学。同年全日本学生音楽コンクール高等学校の部東日本大会第1位、東京文化会館推薦音楽会に出演。昭和59年第19回「10代の音楽家」演奏会に出演。昭和60年第52回日本音楽コンクール川越記念演奏会に出演。同年東京芸大附属音楽高等学校オーケストラと共演。昭和61年東京芸術大学器楽科入学。同年埼玉会館主催「ジョイント・リサイタル」に出演、第8回及び第9回「沖縄ムーンビーチ・ミュージックキャンプ」に参加。昭和62年東京芸大内にて第1回「福島賞」受賞。昭和63年「青少年音楽協会」主催、第131回MFリサイタルに出演。平成元年東京芸大内にて「安宅賞」及び第10回「霧島国際音楽祭奨励賞」受賞。同年東京芸大内モーニング・コンサートにて、芸大オーケストラと共演。平成2年東京芸術大学首席卒業。芸大定期「新卒業生紹介演奏会」において、芸大オーケストラと共演。同年新卒業生NHK音楽オーディション合格。FM新人デビューリサイタル出演。L.バーンスタイン主催第1回「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)」に参加。

現在アンサンブルofトウキョウメンバー。これまでに、海野義雄、兎東龍夫、澤和樹、原田幸一郎の各氏に師事。室内楽を、原田幸一郎、瀬戸瑠子、G.ボッセの各氏に師事。

/Voice Trainer/



ヴォイストレーナー

大久保昭男

1953年、東京芸術大学声楽科卒業。矢田部勤吉氏に師事された。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビューの後、山田耕筰作曲、本人の指揮によるオペラ「黒船」、ドヴォルジャークのオペラ「ルサルカ」(初演)などにも出演される。1959年には、ドイツ・リート及び日本歌曲による第一回リサイタルを開かれた。

現在、昭和音楽大学短期大学部教授として教鞭をとられる一方、慶應ワグネル、明治グリー、立教グリー、法政アカデミー、関西学院グリー、同志社グリーをはじめとする大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍されている。

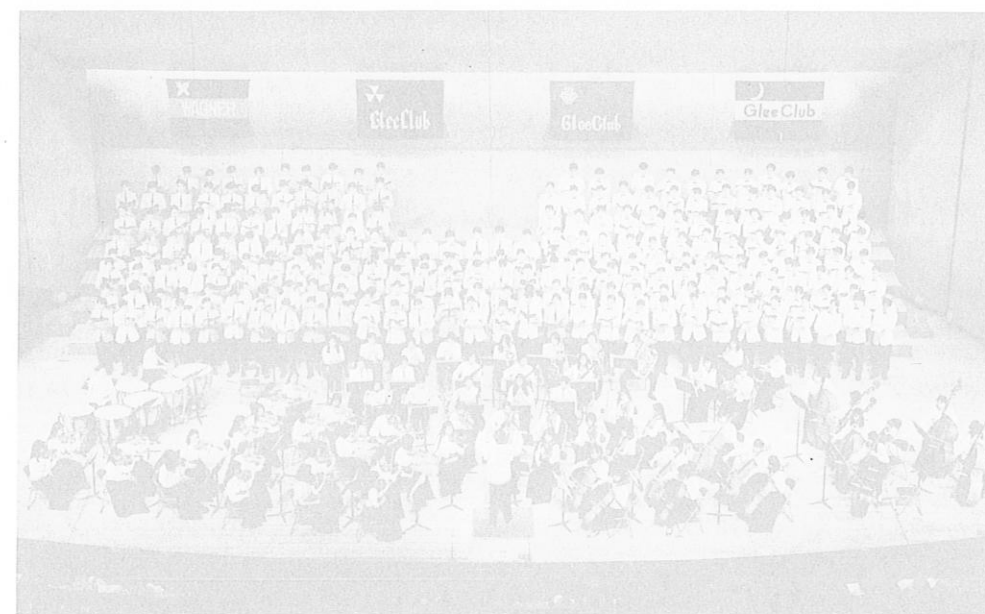


ヴォイストレーナー

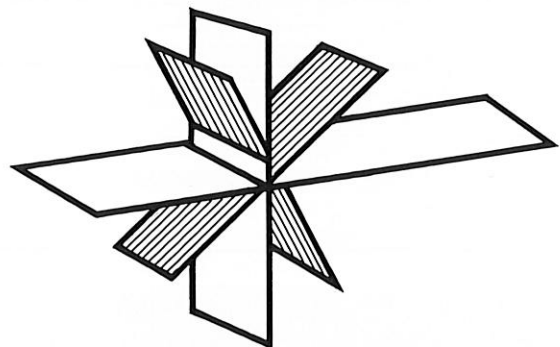
山本健二

昭和25年福岡高校在学中、西日本高等学校独唱コンクール第2位。昭和31年早稲田大学第一法学部卒業。在学中はグリークラブ指揮者として活躍、昭和41年第35回NHK毎日コンクール(現日本音楽コンクール)声楽部門入選。昭和55年第3回波の会日本歌曲コンクール歌唱部門第一位及び荻野綾子賞受賞。岡村喬生、中山第一の両氏に師事。むさしの合唱団、稲門グリークラブ各指揮者。

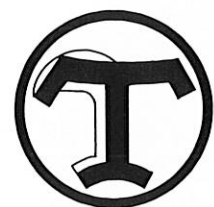
独唱者としても活躍、1990年7月には、有楽町朝日ホールのリサイタルで絶賛を博した。



■明日の包装を開発する——



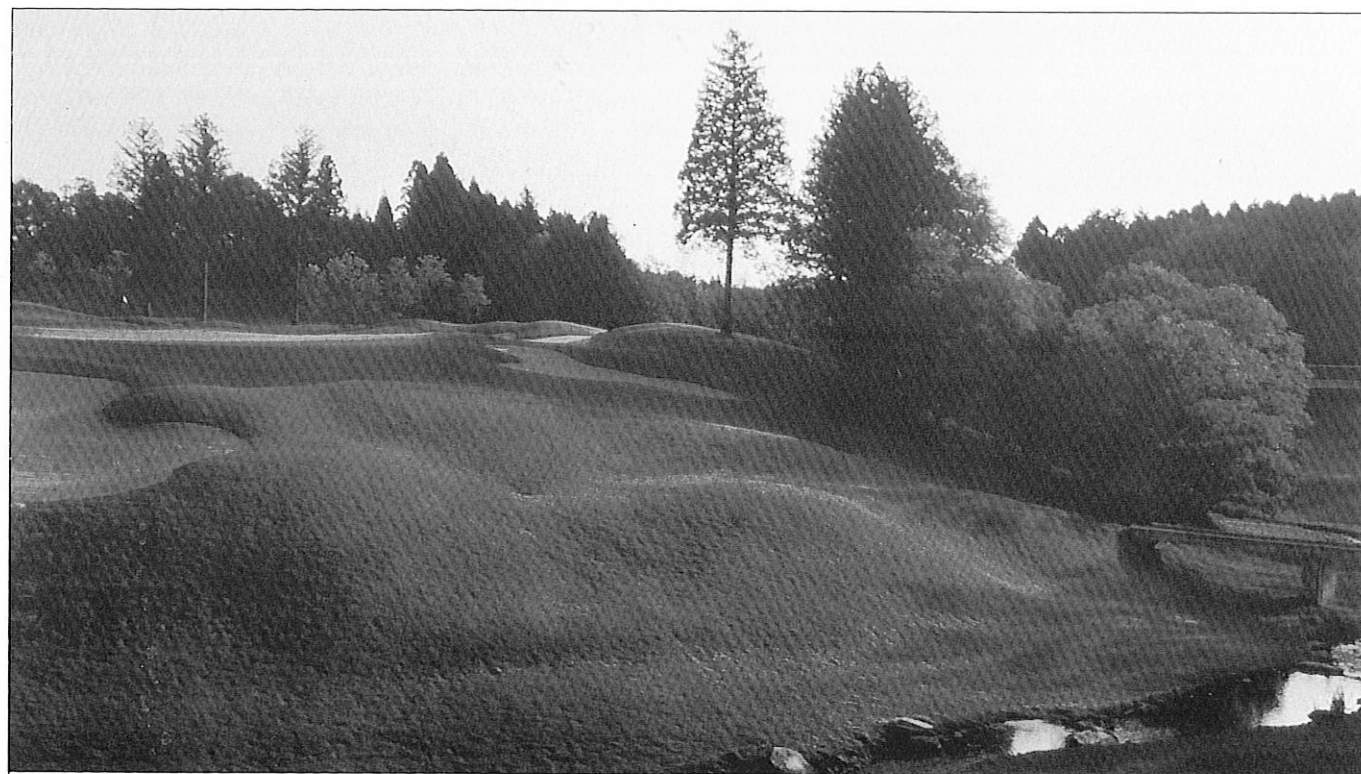
- 段ボール原紙
- 一般板紙
- 建材原紙
- 段ボール
- 紙器製品

 **高崎製紙**

取締役社長 中村瑞夫

本社事務所 千代田区神田淡路町2-7

工場/日光・大阪・高崎・大泉



東和グループ

皆川城カントリークラブ
オーク・ヒルズカントリークラブ
グレンオークスカントリークラブ

11 / 28

SUN

第41回

早稲田大学グリークラブ定期演奏会

東京厚生年金会館大ホール

お問い合わせ / 早稲田大学グリークラブ事務所 03(3208)4100

12 / 13

MON

第89回

同志社グリークラブ定期演奏会

ザ・シンフォニーホール

お問い合わせ / 同志社グリークラブBOX 075(451)9871(呼)

12 / 12 18

SUN SAT

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

第118回定期演奏会

ゆうぽうと簡易保険ホール

東京厚生年金会館大ホール

お問い合わせ / 佐藤剛志 03(5992)1592 鈴木大二郎 0474(51)9339

1994 1 / 22 23

SAT SUN

*62nd関西学院グリークラブリサイタル

神戸文化ホール大ホール

フェスティバルホール

お問い合わせ / 関西学院グリークラブホール 0798(52)6471

6 / 11 26

SAT SUN

第18回早慶交歓演奏会

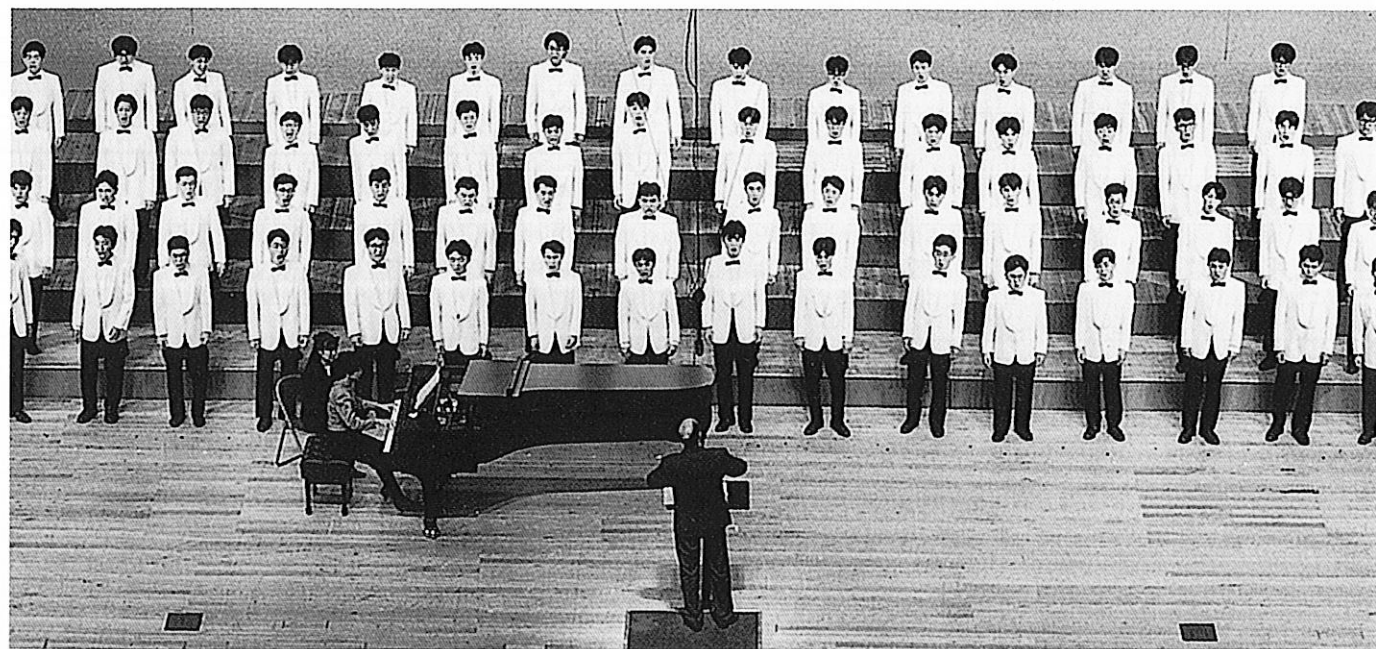
東京文化会館大ホール

第43回東西四大学合唱演奏会

フェスティバルホール

お問い合わせ / 早稲田大学グリークラブ事務所 03(3208)4100

同志社グリークラブ



カネやモノに対する欲望が頂点に達したこの世の中において、人は「感動」という言葉を忘れてはいけないだろうか。

同志社グリークラブはその忘れかけられた感動を人に伝えるクラブなのだ。

人に感動を伝えるためには「上手にハモった」とか「破綻なくできた」ということだけではだめだ。同志社グリークラブは、一般の卑俗無内容な技術主義や耽美主義に対して、音楽の持つ内面性への共感と、その表現を大切にしている。

そのためには、ただ単に長時間練習をこなすだけではだめだ。一人一人詞の意味を考え、常に自分の体験と照らし合わせて歌わなければならないことは言うまでもない。

今回は黒岩英臣先生をお迎えしてチャイコフスキーに挑む。チャイコフスキーを通して同志社グリークラブの「心の叫び」を聴くことができるだろう。

今宵は忘れかけた感動を見つけて会場を後にしてほしい。感動はカネやモノと違って永遠なのだから。

名誉顧問：遠藤 彰／顧問：澁谷昭彦／ヴォイストレーナー：大久保昭男

TOP TENOR

朝間 智昭(商4)南山
○福田 研二(工4)桐蔭
伊藤豪史郎(商4)藤島
三村 剛司(法4)高槻北
○岡 勇蔵(商4)明善
山田 憲成(経4)名大附属
東 光彦(商3)函館ラ・サール
川島 伸規(商3)浪速
小林 武弘(工3)龍野
森 俊樹(文3)金岡
梶原 亮(神2)神戸
久堀 太士(経2)日高
桑添 泰幸(商2)鳳
角 由久(商2)向陽
富田 尚(経2)高松第一

SECOND TENOR

鹿島 啓(文4)新川
國寄 康則(工4)北千里
森下 貴夫(法4)大阪貿易学院
村田 知彦(工4)御影
○南條 崇(工4)今治西
人見 幸朋(法3)西乙訓
岩佐 圭記(法3)堀川
川西 裕之(商3)関西大倉
坂野 友紀(法3)沼津東
亘 幸洋(工3)県立伊丹
平谷 有祐(工2)帝塚山
小藤 純(文2)松江北
園田 誠(工2)千里

BARITONE

近藤 博和(工4)明和
佐々木道哉(法4)豊岡
竹内 秀樹(経4)大分上野丘
谷本 啓(商4)新見
辻 健三郎(経4)岐阜
○八尋 秋彦(法4)洛北
山口 弘(工4)四条畷
荒川 剛(法3)同志社香里
土井 邦康(経3)東海大仰星
長谷川宏志(法3)総社南
小寺 康治(商3)松山東
小嶋 徹(法3)岡崎
足立 義臣(文3)九州国際大附属
渡辺 康人(文3)同志社
吉武 晃(工3)福岡県立京都
千神 敏正(文2)同志社
福栄 貴史(工2)三島
福原 敦士(法2)大阪貿易学院
高津 智宏(工2)愛知
上野 大介(経2)春日丘
宇都 康之(商2)新南陽

BASS

浅海 誠(法4)天王寺
○市之瀬 崇(経4)名古屋北
岩本 光司(工4)春日丘
三原 卓(工4)京大附
奥村 建(工4)平塚江南
☆佐野 泰弘(法4)春日丘
産賀 伸一(法4)落合
打田 俊明(文4)久居
吉田 泰典(法4)市立銚子
迫 謙祐(法3)北野
佐藤 嘉和(文3)東農大二
白川 行宏(経3)国府
平山 直之(経2)春日丘
佐藤 利宏(工2)同志社国際
浦川 和弘(経2)小野
山田 正樹(工2)同志社

☆幹事長／◎学生指揮者／○パートリーダー

祝Gリーグ開幕チーム徹底分析



Bderdy

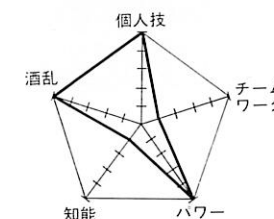
Bデルデー岡元読売販売員

個人技、パワー、声も高けり
やプライドも高い。
今日の主役は俺たちだ!!

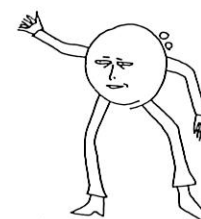
今年もエース、元読売新聞配達員の岡を中心に、抜群の安定感と、声の高さとプライドの高さを誇る。しかし、暴力事件(アサマ・グーデナグル事件)や、久堀太士の大噴火(12/24)など、チーム内で問題多発!!



◎ひとと言…ヤマケン(モンゴル系アフリカ人)おめー!くやしかったらなあ、今日この一瞬になあ、人生の花を咲かしてみろ!!



TOP.



Red Konchans

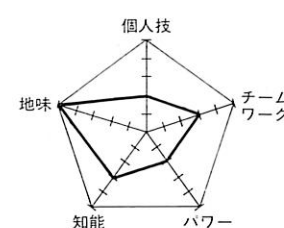
レッドコンチャンズ

輝かしい過去をもつ超名門。
度重なる不運を救うのは、誰か。

コン・チャンは昨季の水ぼうそうに続き、今季もスキーでこけて、じんたいを申し(全治3ヶ月)絶望。グッ・チャンは薬におかれフラフラ、その上タニ・ケイの風しんで感染者続出。暗い話題ばかりのこのチームにあって、唯一明るいのはヤヒ・ロのネクタイだけだ。バリトンに幸あれ、ツジにも幸あれ…。



◎ひとと言…Kyrie, eleison(主よ、あわれみたまえ。)



BARI.



Atalers

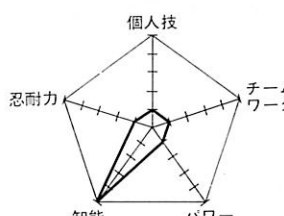
鹿島アタラース

エース^{カシ}鹿K復活! 腹黒村田の天下も3日で終わる。アタラースパワー全開!!

チーム名は、2年前のさわやかな春の日の練習中、鹿Kが「今日はあたらないなあ」と発したことに由来する。チームの大黒柱鹿Kが教育実習から復活し、チーム全員に与える影響は技術的にも精神的にも大きい。リーダーN「鹿Kが復活。あっそう、これで安心です。とても書いて…」



◎ひとと言…鹿K談「みんな心配させてすまなかったぜ、あとはオレにまかせとけ、フン、フン」



SEC.



IBM K.C Yokohama Bassters

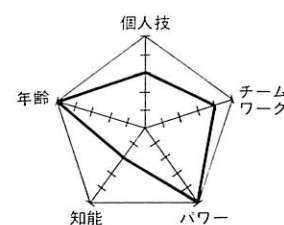
IBMコニシー横浜ベ이스ターズ

押し寄せる高齢化の波。
若さの秘訣はスウィミング!
by 岩本

チーム名はベースのカリスマ的存在として長年指令塔として君臨された小西氏(身長205cm、ヤス!もうええかげんにせえ、ノホホ)に由来する。チームの高齢化が進んでいるにもかかわらず、パワーは今だ衰えをみせない。しかし、やはり年のせいか、長老KING OKUにいたっては、合宿の食事で特別メニューという始末だ。

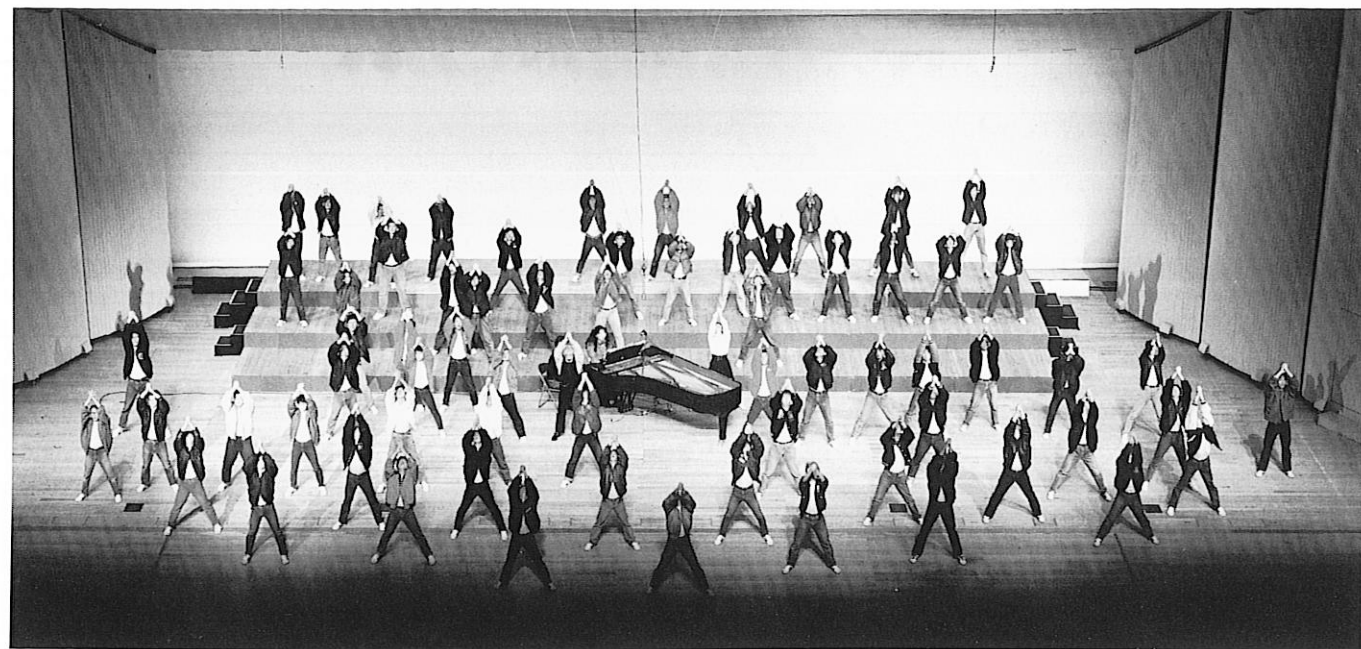


◎ひとと言…い、いえ、何もありません。



BASS.

関西学院グリークラブ



美しく静かな環境に恵まれた神戸原田の森の関西学院にCollege Song "Old Kwansei"が響きわたったのは19世紀もいよいよ最後という1899年のことでした。我国最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの誕生です。以来94年間、学院の恵まれた宗教的雰囲気と内外の温かい御指導、そして何よりも幾多の先輩方により育てられて参りました。

現在の主な活動としては、日本各地への演奏旅行、東西四大学

合唱演奏会、関西学院グリークラブフェスティバル、関西学院グリークラブリサイタル等があります。又3年に一度は海外演奏旅行も行い、その活動の規模は世界にも広がっています。

今宵のステージでは、関西学院グリークラブは、その若々しい情熱を歌にぶつけ、そして少しでも客席の皆様の心を打つ演奏ができるよう、部員一同全力でこの「四連」にのぞみます。

顧問：今田 寛／技術顧問：林 雄一郎／常任指揮者：北村協一／ヴォイストレーナー：大久保昭男／指揮者：広瀬康夫

TOP TENOR

○田中 裕之(経4)高松西
岡畑 幸一(経4)明石
上原 克之(法3)伊丹西
福田 隆弘(経3)鳳
井上 淳(法3)姫路東
下岡 晋(文3)滝川
川越 文夫(文2)大手前
山崎 忠大(法2)加古川東
竹本 大祐(法2)桐蔭学園
中谷 克己(商2)浪速
大村 武志(文2)夢野台
藪野 雅之(経2)明石南

SECOND TENOR

○宮脇 浩(社4)宝塚東
山田 雄一(商4)高松南
生島 朗(法3)姫路西
小門 操一(商3)高石
丹上 敬史(文3)生野
下坂 淳(社3)猪名川
八木 俊嗣(法2)関西学院
山本 寿(文2)宇治山田
織田 晃嘉(文2)尾北
夏池 康行(商2)高田
河村 祐吾(経2)五条

BARITONE

○小切 健司(法4)向陽
西條 誠一(商4)関西学院
森田 義久(商4)笠田
小西 健一(法4)姫路東
大井 俊明(経4)高槻北
酒井 由行(文3)鶴嶺
下村 純平(法3)星稜
伴野 考司(法3)新居浜西
柿宜 悟(文3)川西緑台
柴田 大(文3)関西学院
八木 一夫(文2)龍野
猪熊 兼樹(文2)耳成
永友 朝史(経2)都城西
梶 勤(商2)豊中

BASS

○森 誠太(商4)宝塚西
◎丸山 武彦(法4)神戸
斗山 英紀(法4)九州学院
☆水口 真士(経4)天理
江種 宏則(文3)府中
大塚 範幸(経3)新居浜西
岸本 周士(経3)関西学院
乾 友範(法3)茨木
吉田 修吾(文2)福知山
塚崎 拓也(文2)桃山学院
田中 稔浩(法2)加古川東

☆部長／◎学生指揮者／○パートリーダー

続・Gリーグ開幕 TOP UNITED

男塾で鍛えられた驚異のパワー
一唱法！
築けるか夢のトップ王国

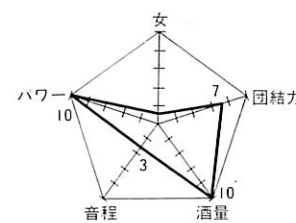
近年、同志社トップのパワーの前にやや押され気味ともっばらの噂の我が関学トップテナー。前年度監督の小崎氏はその意識を必死に改革し、その意志を新監督田中に託した。その思いが、ついに開花しようとしている。その主たる原因はやはり、昨年より引き継がれた男を磨く会、「男塾」ではないだろうか。監督田中の指示のもと、真の男を目指す彼らは次々と荒技を披露していくのだ。己を捨てた今、彼らに怖いものはない。



From Part Leader

塾則(本年度版)
一、酒を男を愛せよ
一、女に溺れるな
一、弱きをくじけ
一、一芸を極めよ
一、起爆剤となれ
一、時には悪魔となれ
一、一度むけて男となれ
Fight on! K.G.Top.

■戦力分析



TOP.

チーム徹底分析 Kwansei STENOR

監督必殺「跳ねる理論」は未だ健在
耐えられるかパートソロ！

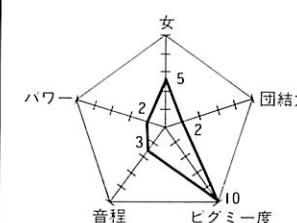
「君たちは腐ってもテナーなんだよ！」と、我が常任である北村先生に常々注意されるのは関学セカンドのメンバー。トップの3度下を歌うことに快感を覚え、どうせ日の当たらないいもらせ役だとすねることもしばしば。しかし、そんな彼らにもついに春がやって来た。第3試合で繰り出されるパートソロのオンパレードに、監督一同狂気乱舞。だが、メロディーに慣れていない彼らは…
全ては、第3試合の頭で決まる！



From Part Leader

早いもので、いつのまにか自分たちが最上級生となった。毎年記憶に残るステージとなるが、今年は今までのどの年にも勝るものになりたい。

■戦力分析



SEC.

Baritone FOURTEEN

技術と才能を備えた監督の恐怖の独裁政権
これに団結力があれば…

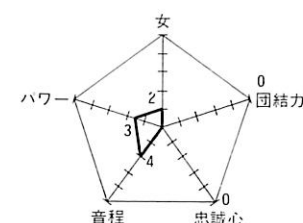
関学で最大の人員を擁するのからバリトン勢。しかし、数が多いゆえに抱える問題も多い。その最たるものが、まとまりの無さであろう。上下のつながりは未だしも、同期生の間でもその傾向が顕著に現れている。かねてからの「ぬるま湯」体質が指摘される中、監督小切はメンバーに対し、喝する。「それは俺に対する挑戦と取るぞ！」監督にも見放されつつある彼らバリトンに、明日は来るのだろうか。



From Part Leader

我がバリトンは、私の力だけではどうにもならん程勝手に、良く言や個性的な奴らですが、やる時はやってくれと信じています。……無理やって(バリー同)

■戦力分析



BARI.

Kwanseigakuin GAMBA RE BASS

我こそは「日本一」のベースなり！ 人は減れども闘志は消えず

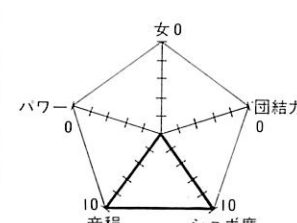
Gリーグ界広しと言えど、我々が日本一だと正面切っているのは、彼ら関学ベース陣以外にありえないだろう。長き伝統の中にあつて、常にその屋台骨を担ってきたその実力は、周知の事実と言っても過言ではない。しかし、競技人口の減少という現実の中で、その力に陰りがという声も聞かれるが、部長学指揮を擁する彼らベース陣は、監督森誠太のもと、「日本一」のペナントを高々と掲げ邁進することだろう。



From Part Leader

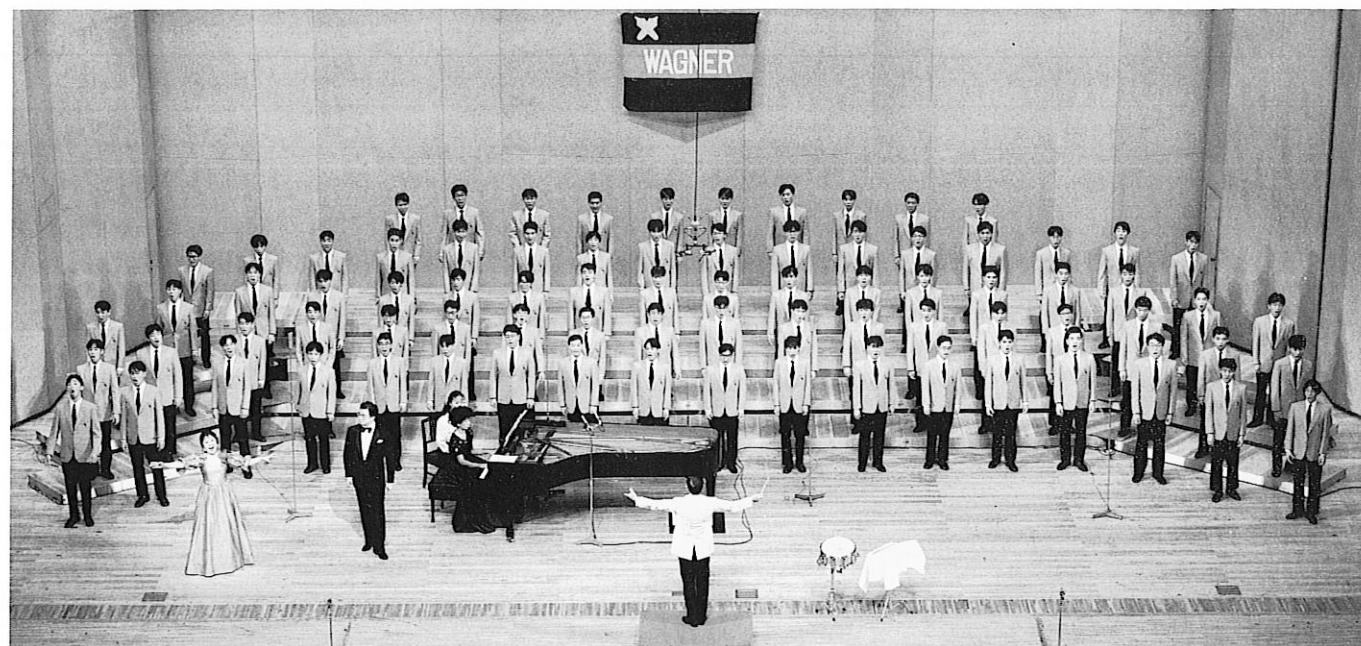
今年もこの季節がやって来た。あの緊張感を味わえるこの演奏会も、私にとって最後である。思えば、2回生の時に、オーディションを苦勞して通り、ステージで歌えた、何とも言えない満足感が懐かしい。あの時の気持ちを持って、もう一度ステージにぶつけたい。

■戦力分析



BASS.

『慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団』



明治34 (1901) 年発足した我が団は、日本初の「音楽学校以外の学生による総合音楽団体」として、アマチュア音楽史上極めて重要な立場にあります。明治36年には、第一回演奏会が三田の演説館で開かれ、同39年に初めて常任指揮者として東京音楽学校(現在の東京芸術大学)から大塚淳先生をお迎えしました。アンサンブルの中での一音のミスも許さない大塚先生の下での、32年にも及ぶ厳しく、計画的な指導により、技術は日を追うごとに向上していきました。音に対する妥協を許さない姿勢は勿論今日のワグネルにも貫かれており、特に現在御指導を仰いでいる畑中良

輔・大久保昭男先生により発声が確立され、その重厚なハーモニーは「ワグネル・トーン」と呼ばれるようになりました。沢山の先生方の御尽力によって、ワグネルは一昨年創部90周年を記念演奏会で祝うまで発展してきました。現在部員は百余名を数えるに至り、更に高レベルの音楽を追求する一方で、各種の演奏会を中心に、国内・外への演奏旅行、施設訪問、テレビ出演などの依頼演奏を行なうなど、多彩な活動を通して音楽活動を広く社会全般に浸透・普及するよう努めています。

顧問：村田武雄・千種義人・山田太門・福岡正夫／部長：神谷傳造／専任指揮者：畑中良輔／ヴォイストレーナー：大久保昭男

TOP TENOR

井上 弘康(理工4)高岡
○林田 貴一(理工4)清水東
本田 典史(経済4)飯田
森山 剛(理工4)川越
佐藤 剛志(商 3)磐城
橋本 哲也(商 3)津西
原 典彦(商 3)山口
山平 太(法律3)九州国際大附
吉川 貴洋(理工3)多摩
和田 敦(商 3)安積
近藤 誠(商 2)金沢泉ヶ丘
木田 和寿(経済2)慶應義塾
高木 克尚(法律2)延岡
西山 泰之(法律2)御影

SECOND TENOR

○稲田 和裕(政治4)米子東
長田 純一(文 4)逗子
◎細川 雄司(文 4)一関第一
三代 毅(法律4)米子東
國田 拓(理工3)神戸
島田 寛明(文 3)不動岡
関根 哲也(文 3)川越
高橋 廣樹(商 3)富士河口湖
垂水 敬(経済3)土佐塾
山中 裕典(文 3)開成
衣斐 郷志(文 2)東海
佐々木貴之(文 2)川越
竹内 昭夫(政治2)金沢泉ヶ丘
萩原 信行(理工2)沼田
柳迫 隆之(文 2)桐光学園

BARITONE

岡田 健(文 4)市立千葉
○五味健二郎(理工4)東葛飾
☆西崎 正隆(商 4)鎌倉
橋本 正純(経済4)総社南
松田 徹也(政治4)川越
犬塚 秀康(理工3)城北
岩田 亮介(文 3)明大甲斐子
奥村 直紀(商 3)熊谷
栗山 克(理工3)駒場東邦
鈴木大二郎(政治3)千葉
増田 修一(政治3)学芸大附
渡辺 力夫(商 3)攻玉社
大島 剛(商 2)光陵
兼行 孝幸(政治2)久留米大附
河合 英紀(理工2)児島
柴田裕一郎(理工2)慶應義塾
日笠 哲治(政治2)春日丘
平間健太郎(政治2)学習院
吉田 篤明(理工2)頼明館

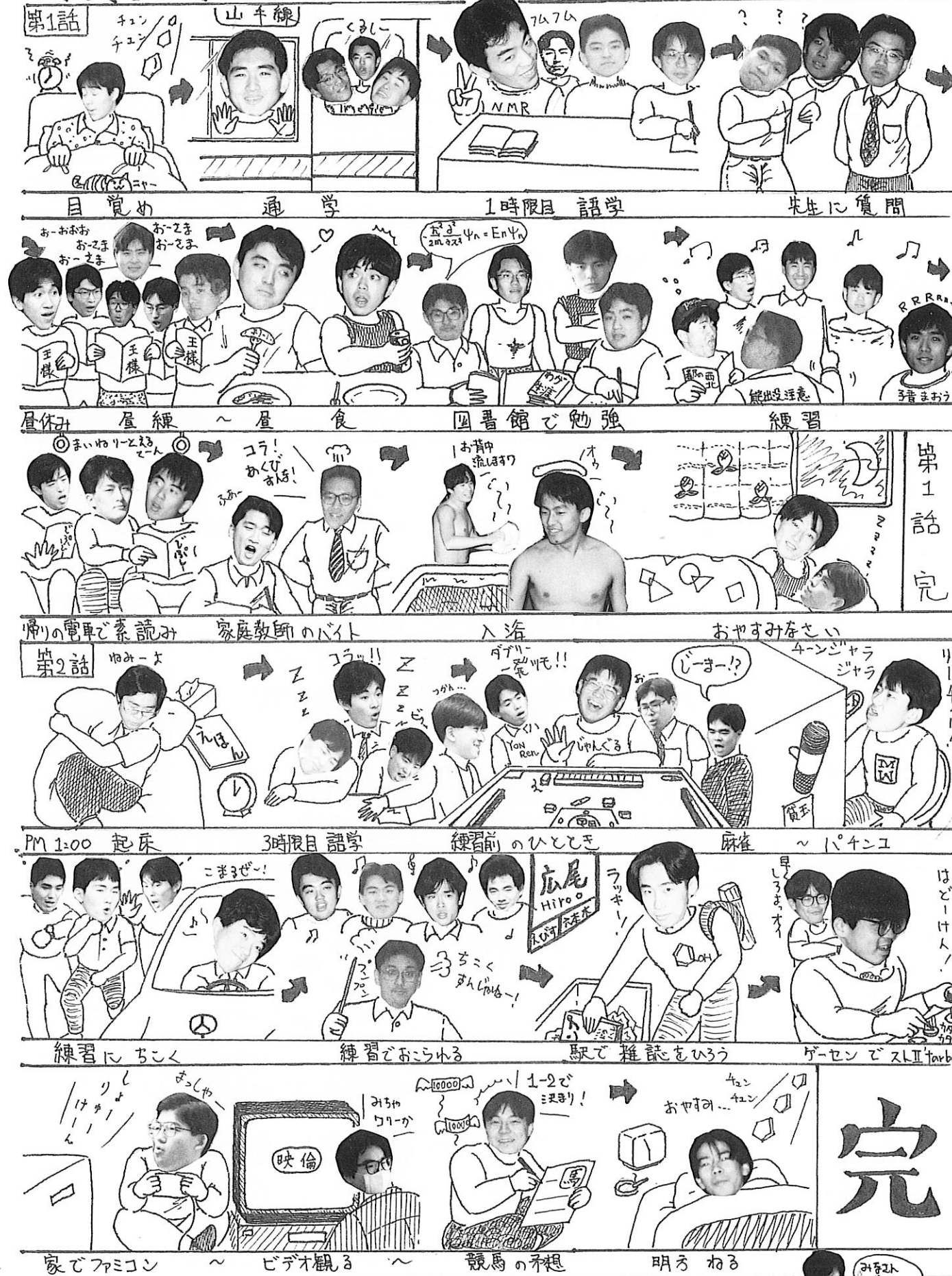
BASS

石原 淳司(経済4)湘南
加藤 裕信(商 4)熊谷
鳥居 直樹(商 4)成瀬
○矢野 真道(理工4)愛光
大谷 寛明(理工3)旭丘
作山 修二(商 3)春日部
早川 貴(商 3)松江北
吉田 達之(政治3)熊谷
吉田 光寿(法律3)藤島
大友 直人(法律2)神戸
斎藤 弘之(理工2)大田原
鈴木 恒行(法律2)奈良
堀口 裕正(商 2)松本深志
松田 裕樹(政治2)慶應志木

☆責任者／◎学生指揮者／○パートリーダー

特別読切『ワグネル君の日記』

作画 原典彦
脚本 犬塚秀康
監修 藤成
制作 中田典史



※このページはすべてノンフクションであり登場人物・団体名は実物とは大いに関係があります。(特に第2話…)

早稲田大学グリークラブ



会長：上田 稔／顧問：磯部 俣／ヴォイストレーナー：山本健二

TOP TENOR

岡本 和久(政経4) 広島井口
北口 哲也(理工4) 奈良
○国吉 知樹(政経4) 青雲学園
鈴木 慎光(社学4) 高鍋
土居 直(商 4) 下関西
中野 聡(理工4) 新城
秋山 克彦(商 3) 海城
有吉 健司(理工3) 千葉東
君塚 肇(理工3) 日比谷
島田 尚豊(理工3) 新潟
若松 裕章(商 3) 国立
高橋 守(政経2) 立川
中川 貴智(二文2) 春日部
西川 竜太(商 2) 川越

SECOND TENOR

◎神馬 豊彦(人科4) 希望ヶ丘
近田 修一(一文4) 都立武蔵
○中沢 秀司(理工4) 相模原
野村 英行(理工4) 都立武蔵
岡本 正和(政経3) 川越
吉光寺克己(二文3) 明法
小島 正禎(一文3) 市川
山下 哲司(商 3) 明善
喜多 智靖(商 2) 金沢泉丘
栗原 宏幸(政経2) 川越
小泉 政男(商 2) 川越
田中 俊孝(理工2) 千葉東
若林 聖(理工2) 市川

BARITONE

○大島 貴史(一文4) 薩摩サール
佐藤 昌弘(理工4) 鉦路湖陵
遠藤 和彦(商 3) 浦和
大屋 誠(理工3) 菊里
小野田一輝(理工3) 高岡
唐島 尚徳(政経3) 早大本庄
小島 晴幸(教育3) 前橋育英
吉沢 泰(教育3) 早大本庄
尾崎 肇(一文2) 国立
志野 大輔(一文2) 東大寺学園
谷口 宏平(一文2) 岩国
細川 浩道(二文2) 両津

BASS

☆中山 雅仁(政経4) 早大本庄
○三浦 信(一文4) 佐沼
山本 光康(一文4) 宇都宮
浦野 一郎(政経3) 浦和
太田 慶(法 3) 川越
船岡 史郎(理工3) 仙台第一
三田 剛史(政経3) 川越
三宅 竜太(政経3) 東葛飾
斎藤 和幸(一文2) 早実
中島 太郎(一文2) 国立
平石 耕(政経2) 千葉東
四元 滋(政経2) 早大学院
渡辺 多功(法 2) 早大学院

☆部長／◎学生指揮者／○パートリーダー

僕らにとって、「四連」のステージは特別な意味を持っている。「四連」、それは戦いの場である。お互いにそれぞれをライバルと認めあう四大学の、全力を尽くした戦いなのだ。しかしそれは同時に大きな楽しみでもある。一年前、再会を誓いあった仲間達が再び一同に会するときの懐かしさや高揚感とはとえようもないくらいにすばらしいものである。そして、誰もが「俺達が一番だ!」と、思っている。この、プライドのぶつかり合いから生まれるパワーこそが四連の、男声合唱の真髄なのだ。

今年の早稲田大学グリークラブは、このプライドをかけた単独ステージに、男声合唱のための組曲「若人のうた」で勝負する。指揮者には宇野功芳先生を、ピアノ伴奏者には佐藤真先生をお迎えし、また男声版初演ということでもグリーメンの気合は十分である。そしてグリーメンの四連に対する想いがこのステージを介して伝われば、感動以上の何かを得られるはずであると僕らは考えている。四連に妥協はない。

早稲グリーは、今年も、燃えている。(お約束!!)



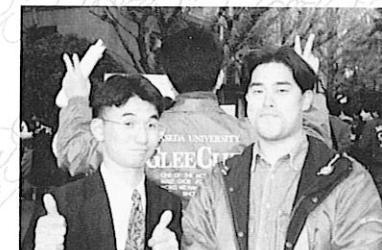
〈山頂パー練〉

晩春合宿、長瀬青年の家近くの金剛山にて。音取りパー練した。



〈寒い寒い〉

左の写真と同じ。やめておけばよかったと誰もが思ったが後の祭り。



〈サイドのカリアゲ(2人して)〉

次代を担う部長のチーフ&サブコンビ。



〈俺のもの〉

視線はお好み焼の4年の○島。ほっぺに注目、なぜか不敵な笑顔を浮かべる。



〈マオア〉

便所でも自分の歌に余念のない2年のT、肩の力を抜いて行こうぜ!

T田氏。派出所にて、おまわりさんに怒られる。都内某所にて、バカ騒ぎしたのが原因らしい……

〈すいません、すいません〉



!! I'm a curious Being!!
Q&A
- KOROKE!

コロスケ…三浦の持ち物には全てこのマークが描かれている。

声帯…疲れ知らず!

胸…Sample巨乳

右手…速い。

早稲グリー版

伝われたの匂い

& オフレコ写真館

■プロフィール

歌う声年増。現世を忘れ、そために日夜妄想を続ける若者たち。あまりにのめり込んで勉学を捨てる者も少なくない。(KOと同じ)

■弱点

所構わず鼻歌で「縄文」などを歌ってしまう(ビッシャビッシャ)

■経済状況

何気て真〇が多い。(にせもの)

■愛読書

『アタリヤ』(←圧力!)

足…中山は短い。

靴下…見えないが臭い。(奴が多い)



四連マネ(別に意味はないけど四連だから!)

やはり1人で歌っていると、周囲からの視線が熱い。

〈井の頭再オーディション〉



額…ここから広がります。

性…帯…デリケート

チーフ…黒いから汚れない。



〈ジョルジュ〉

スペイン人。六連ではメリーさんの羊と、いとしのメリーを熱唱。



〈宙(うつろ)〉

ノーコメント。

トップテナーの伝統行事のひとつ(3年前から)。歌っていると小さな子供に見つめられたりする。また、周りにはアベックが多数存在していた。

〈井の頭パー練〉





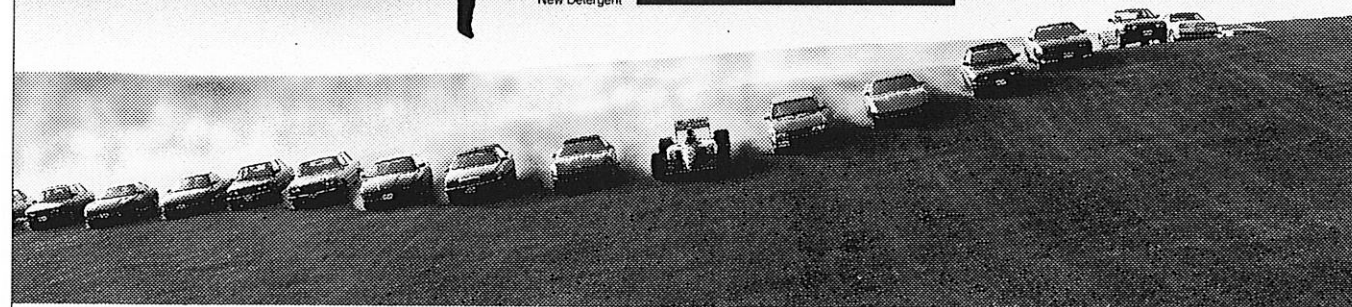
昭和シェル石油

誕生

New

ガソリン、先進力
FORMULA
Shell

With Spark Aider & New Detergent



その力、頂点へ向かう。

世界のすべてのクルマのために。F1で鍛え抜かれた「スパークエイダー」と新開発の清浄剤「SAP947A」が、ドライバビリティを変える。「New フォーミュラシェル」、世界に先駆けて日本で新登場。

パールサイエンスで詩う きらめきのスキンケアシリーズ、ペルティア。



月が流した涙から真珠が生まれたように、真珠の雫から誕生したペルティア。深く深く真珠をみつめ続けるミキモト化粧品が、積み重ねたパールサイエンスの限りをつくして誕生させました。
知性のスバイスを効かせて、美しさへの思いのたけを語りたい、たおやかに洗練された女性のためのスキンケアシリーズ・ペルティア。
美しくすこやかに生きたいと願う女性にお届けします。

パールサイエンスのきらめき
PERLETEAR

ミキモト化粧品

製造・発売元＝御木本製薬株式会社 ●本社 〒516 三重県伊勢市黒潮町1425 Tel.0596 (22)4145 ●東京03 (3543) 2778 ●神戸078 (332) 0920 ●札幌011 (210) 0035

美しさへの扉を開きましょう。ミキモト化粧品はビューティコンパニオンがお届けいたします。

- 四季おりおりの“旬”の新鮮な材料を衛生第一に調理致し、おいしさとまごころの味をお届けして、ご利用下さった皆様から好評を博して居ります。
- ご慶事・ご法事・旅行・観劇・運動会・会社会議・建築・同窓会・パーティー等各種行事、催し物などの、ご用向きに合せ、如何ようにも調理致しますのでご相談下さい。
- 出張パーティーご希望の節は、模擬店、美人コンパニオンも派遣します。
- ご要望の日時・場所へ确实・スピーディーにお届けします。
★ご予約はなるべく2日前までをお願い致します。
★季節により使用材料が異なる場合があります。

お申し込み・お問い合わせは



浮かれ本舗 さ、元

〒135 東京都江東区大島5-47-13-104

☎03(3638)1125(代)

FAX 03(3638)1126

●屈指のスコアリーディング技術で、音楽や演出に添った的確な撮影●編成にあったマイクアレンジで、高品位な録音●TV放送機器による高画質収録、本格的なオンライン編集

迫力が違います。

有ベシッ・ビデオ・アーツ
〒162 東京都新宿区片町5 TEL03-3355-6788

いい音のCD、臨場感いっぱいのビデオ。
コンサートの収録は、私たちにおまかせ下さい。
ベシッは、品質にこだわります。



CREATIVE HOUSE
ARTZAULES

クリエイティブハウス アートザウルス

東京都港区赤坂9-1-7 赤坂レジデンシャルホテル937号 ☎03-3405-0140 107

Ichitaro

Kent Ajiya

区級保存版
完全エリアマップなし

東西

四連

早慶同関のお店全12軒情報

1993.6.26.No.42

慶應

ともかく
お腹一杯の
食欲旺盛
ワグネリアンの
オススメ

ひこバンバン

1,700円で焼肉食べ放題のこの店は、金曜日夜には必ずと言っていいほど、食欲旺盛なワグネリアンの巣窟と化す。肉類のみならず、野菜やサラダ、キムチ、はたまたソバまでもが食べ放題。更にここには魔法のゼリーがあり、これさえあれば「いくら食ってもまた食えるようになる」という代物!?

練習で多大なエネルギーを消費したワグネリアンの格好のエネルギー補給場として、絶大な人気を誇っている。



東急目蒲線不動前駅のすぐ側にあるこの店は、代々月曜夜のワグネリアンのたまり場となっている。なんと言ってもオススメはパキスタンカレー。天下無敵の辛さを誇る絶品で、初めてこの店を訪れた人は、まずこのカレーの洗礼を受け、そうして一人前と認められるのである。(大ウソ)

Amitee



最近日吉にできた、日吉在住のワグネリアンには人気の高い定食屋。近辺の他店より比較的値段が安いだけでなくご飯の量が多い。50円増しの大盛りを注文しようものなら、それこそ「ま〇が〇ほん昔話」にでもてくるような山盛りのご飯が食べられる。カレーライスの大盛りを頼んだ日にはもう……笑うしかない。

どんど



同志社

「いつもお世話になってます」の
同志社の
お気に入り

れもん



日本の銘酒が一同に並ぶ、通の隠れたリカーポイント。酒豪白川も思わずニマリ。高ぶる気持ちを押さえつつ、看板娘平井さん（バイト日：水、木、金の休）とパチリ。酒好きにはこたえられない。女将さんの手作りおそうざいが美味しいが、残念にも店の棚には並ばない。どうしても食べた人は是非この養子に。平井さんの月見草の様なチャーミングさにはK島もメロメロ。

酒造アミリア



グリー女性ファン人気投票No. 1、2の2人が、ついに「れもん」に来店。喜びのあまり、女性主人のよし子さん（仮名）が思わず撮ったお宝スナップを今回特別に公開。
「本当、今でも信じられませんが、ドキドキしたわ」とバイトの夢子ちゃん（仮名）。水の代わりに出てくる天然れもん水は初恋の味。カレーピラフがとても美味しい店。

練習場に近くて遠いところ。練習場への通り道ではあるが、通る際には緊張感がにわかに漂う。麦茶が美味しいが、ライバル店「ハイッハナフサ」出現。店内は狭し。しかし、店員は2人いる。

シャトー泉



関学

何でも食べる!の
関学グリーメンの
溜り場

先輩



今年の新歓コンパ会場。当日の店の前はゲロまみれ。普段はお好み焼きで、最高級のメニューのせんばい焼きは、ソバ、ブタ、イカ、タコ、チクワ、シューマイ、ギョーザが内蔵

ブルーマリン

店内が広いので、新歓の時期は新入生を連れてよく行く。しかし値段が高く、バイトのねーちゃんは愛想が悪いので、人気はない。「ブルーマリンクイズ」という1回100円で全問正解すると3,000円の食品券が当たるのだが、当りっこない問題なので、ただのボッタくりである。



されている。500円でこれ程ゴージャスな食べ物を提供する一見良心的な店だが、賞味期限が保証できないため、「ボッタ」と呼ばれている。何でも食べるグリーメンには最適。



グリーホールの近くにあるグリーの溜り場。その収益の半分以上はグリーメンである。夏にはコーヒーマシがうじゃうじゃ出だし、割リバシにはゴキブリが刺さっている。現在7回生のOB石川さんがバイトしている。

福井屋

早稲田

千円でお釣りと
ゲロがくる、
早稲田のD級
グルメストリート



ママハウス

一見なんの店か分からないが、店内に入るとつと理解不能のハンゲル文字が並ぶ韓国家庭料理屋。チゲ、クッパ、ビビンバなどの耳なれたメニューもよいが、やっぱりゴルペンイ、ケチゲ、スジボクムなど出てくるまでなんだか分からないメニューにトライするのもOK。名前もスゴイが、味はもつとスゴイ。

昇龍軒



のようなあの絶妙なハーモニーは、一食の価値あり。行列店にもかかわらず、料理が美味なのも人気の秘密。

わせだの弁当屋

日本一の売上を誇るほか弁当屋。昼になると、連日100人の行列ができるほどの人気ぶり。「ベスカラ」「マエスキ」などの早大生にしか分からない、おぼちゃんとの暗号のようなやりとりを全てマスターすれば今日からあなたも早稲田通。



／編集後記／

Doshisha



辻 健三郎 (4)

酒をのめ、それこそ永遠の命だ。また青春の唯一の効果だ。花と酒、君も浮れる春の季節にたのしめ一瞬を、それこそ真の人生だ！今日は、思っきり酔いつぶれるぞ。



坂野 友紀 (3)

御支援くださった皆様へ感謝。特にチーフにはお世話になりました。さて、来年は同志社が幹事校。サブの4人で頑張るぞ。
P.S.そろそろ和田のプライベートなことか聞きたいよな、有吉。

Keio



石原 淳司 (4)

四連も何とか開催までこぎつける事が出来、長い間準備に携わった者としてこの上ない喜びを感じています。私のつたないマネージを支えてくれた四連マネのみんなに最大の感謝！どうも有難うございました。



和田 敦 (3)

ワグネルと学業と別団体とバイトに追われ、混乱と寝不足の毎日。これらを通して思い知ったことは、つくづく自分が「使えない」こと。多くの方に迷惑をかけてしまいました。今後は、こんなことないようにしますね。



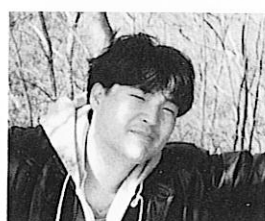
西條 誠一 (4)

四連理事として働き始めて今年で3年目。「だるいなあ。」と思いつつ、ここまでやって来ました。そんなこんなで今回が最後。「就職が…」と喘ぎつつも、最後はびしっとしめします。「下坂、後はよろしく。」



下坂 淳 (3)

本当にいろいろなことがあった。胃の痛い日が続いた。今回の反省点をふまえつつ、来年の四連に活かしていこうと思います。最後にお世話になった皆様方、本当にありがとうございました。



中野 聡 (4)

四連が終るまでに、何回苦しみ、どれだけ努力をし、そのためにどれ程の時間がかかったのかは数えるのも面倒臭いが、終わった後の充実(満足)感はたった1度きりなので、少しずつ大切に使っていきたいと思う。



有吉 健司 (3)

チケット売りとレポート類ではまって寝るひまがありません。こんな生活の中で院への進学と●●(←圧力！)とをGETしているチーフさまは偉大なんです。足りないのは金だけだそうです。ちなみに私は彼女募集中だよ。

Kwansei

本日はお忙しい中をご来場頂き、誠に有難うございました。最後になりましたが、快く原稿を執筆して下さいました諸先生方、広告主の皆様、アートザウルスの井上さん、昭和女子大学人見記念講堂の皆様、更に演奏会の開催にあたりご尽力下さいました全ての方々、そして本日も来場下さいました全てのお客様に厚く御礼申し上げます。

Waseda

第42回東西四大学合唱演奏会 1993年6月26日発行
発行 東西四大学合唱連盟／編集 中野 聡 石原淳司 有吉健司 和田 敦
制作 アートザウルス／写植 マウント企画／印刷 株式会社平河工業社

日本音楽著作権協会(出)許諾第9370464-301号

ひと粒に13種類の
スイスハーブが生きている。



Ricolaherb
ハーブ
キャンディ



のどにさわやか

山之内製菓・サンウエル

●お求めは、薬局・薬店、駅売店、ハーブキャンディ取扱店でどうぞ。